

ハイブリッド手術室整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業開始年度 H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H29 年度	H29 年度
		政策 [先進的な医療と福祉]			□ 県単		□ 補助金				
関連する県の計画等		[第4次中期経営計画]			□ その他		■ その他				
[事業目的]											
<p>脳、心臓、大動脈など全身の血管にかかる疾患をより安全に治療するため、高精度の血管造影装置を配備し、外科手術と内科的カテーテル治療（血管内治療）を同時に実施できる「ハイブリッド手術室」を新たに整備する。</p>											
[事業内容]											
<p>事業内容 県立病院が実施する以下の事業に対し、繰出を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設概要 空気清浄度の高い手術室を増設し、据付け型の血管造影装置を設置 <small>〈整備機器〉 血管造影装置、3Dモニター、清潔管理システム 等</small> ○ 実施治療例 ①脳内の複数箇所に血管疾患を有する患者に対し、外科手術（開頭クリッピング術）と内科治療（カテーテルを使った血管内治療（例 コイル塞栓術））の同時実施 ②県内では県立病院でしかできない胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術（開胸せずカテーテルを通して人工血管を挿入し動脈瘤が破裂しないよう血管を補強する治療）の実施 ○ 設置場所 県立病院4階（床面積約138㎡） ○ 事業費 774,555千円（財源：地域医療介護総合確保基金1/2、起債1/2） 											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					387,277						
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標)							安全な治療が目的であり、目標数値の設定はなじまない			
	実績										
活動指標	(目標)										
	実績										
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県立病院				
予算額	387,277			(繰入) 387,277	0	事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	ハイブリッド手術室整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成28年4月に、血管疾患を総合的に治療する「脳心臓血管センター」を開設した。 脳、心臓、大動脈など全身の血管にかかる疾患をより安全に治療するため、高精度の血管造影装置を配備し、外科手術と内科的カテーテル治療（血管内治療）を同時に実施できる「ハイブリッド手術室」を新たに整備する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	全国整備状況 185病院 うち自治体病院 31病院（23府県）			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	—		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度 基本設計、実施設計				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

こころの医療センター再編事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度 H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H29 年度
		政策 [先進的な医療と福祉]			□ 県単		□ 補助金				
関連する県の計画等		[第4次中期経営計画]			□ その他		■ その他				
[事業目的]											
こころの医療センター内に精神科救急・合併症病棟を開設し、精神単科病院では対応が困難な身体と精神の合併症患者への治療を強化する。											
[事業内容]											
<p>事業内容 県立病院が実施する以下の事業に対し、繰出を行う。</p> <p>○精神科救急・合併症病棟（東4病棟）の開設（平成30年1月～）</p> <p>○削減した余剰病床（西2病棟）のスペースを活用し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション室を設けて早期退院を促進 ・退院患者が身近な地域で暮らせるよう、訪問看護を強化 <p>○総事業費 71,544千円（財源：地域医療介護総合確保基金1/2、起債1/2）</p>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						35,018					
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績								安全な治療が目的であり、目標数値の設定はなじまない		
活動指標	(目標) 実績										
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県立病院				
予算額	35,018			(繰入) 35,018	0	事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	こころの医療センター再編事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>高齢化の進展に伴い、精神と身体の合併症患者が増加していることを踏まえ、こころの医療センター内に精神科救急・合併症病棟を開設し、精神単科病院では対応が困難な身体と精神の合併症患者への治療体制を強化する。また、削減した余剰病床（西2病棟）のスペースを活用し、リハビリテーション室を設置し、早期退院を促進するとともに、身近な地域で暮らせるよう、訪問看護を強化する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民							
他県の状況		前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名	(実績)	
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況		—			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

陽子線がん治療センター設備整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度 H18 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度	H32 年度
		政策 [先進的な医療と福祉]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等		[第6次 福井県医療計画]			<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> その他				
[事業目的]											
若狭湾エネルギー研究センターにおけるこれまでの陽子線がん治療研究の成果や、全国的にも優れたがんの診断・治療技術を活かし、健康長寿につながる施設として陽子線がん治療施設を県立病院に整備する。											
[事業内容]											
行政情報ネットワーク機器の更新（陽子線C分） 平成22年度に導入した行政情報ネットワーク機器について、平成29年度に保守サポートが切れるため更新を行う。 ハードウェア購入費用 3,500千円											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		476,776	701	18,321	28,540	3,500	3,500	3,500	更新機器の変更		
2月現計予算額の推移		474,896	564	10,675	27,543						
決算額の推移		474,896	564	10,675							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	陽子線がん治療センター 利用者数 (目標)	(154)	(220)	(187)	(205)	(225)			前年度比10%増		
		実績	186	187	128						
活動指標	(目標)										
	実績										
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	3,500	2,450			1,050	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	陽子線がん治療センター設備整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>陽子線がん治療センターにおいて、必要な機器備品類を整備し施設の円滑な運営を行うことにより施設を県民に広く利用いただき、県が目指す「がん予防・治療日本一」の推進が期待できる。平成29年度は目標としている225人の治療に対応すべく施設の整備をしていく。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度整備状況 ボーラス・コリメータ工作操作盤PC更新 モンテカルロおよび三次元線量分布解析計算機更新 治療計画装置データサーバ更新 線量分布検証のための水平用水ファントムの整備 行政情報ネットワーク端末の購入				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

陽子線がん治療センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度 H22 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H32 年度
		政策 [先進的な医療と福祉]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等		[第6次 福井県医療計画]			<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> その他				
[事業目的]											
広く県民が利用できる健康長寿につながる施設として、県立病院に整備した陽子線がん治療施設を運営する。											
[事業内容]											
施設の維持管理や治療装置の運転維持など施設運営に必要な業務 ○陽子線がん治療センターの運営に係る繰出（303,000千円） 電源立地地域対策交付金 303,000千円を委託費に充当											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		383,283	300,614	303,421	327,477	303,000	303,000	303,000			
2月現計予算額の推移		383,072	300,614	400,605	327,477						
決算額の推移		383,071	300,031	387,262							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	陽子線がん治療センター 利用者数	(目標) (154)	(220)	(264)	(205)	(225)			前年度比10%増		
		実績 186	187	128							
活動指標		(目標)									
		実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	303,000	303,000				事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	陽子線がん治療センター運営事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
広く県民が利用できる健康長寿につながる施設として、県立病院に整備した陽子線がん治療施設を運営する。							
[受益者] 陽子線がん治療患者				[想定される受益者数] 225人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
H27治療実績：128人				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

陽子線がん治療費等助成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H32 年度
		政策 [先進的な医療と福祉]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金					
関連する県の計画等		[第6次 福井県医療計画]			<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
<p>陽子線治療は、治療効果が高く副作用の少ない最先端のがん治療法である。しかし、現在公的医療保険が適用されていないことから、高額な治療費は全額自己負担となっている。</p> <p>このため、陽子線治療を希望する県民の経済的負担を軽減し、より多くの県民が陽子線治療を受けやすくなるよう措置を講ずる。</p>												
[事業内容]												
<p>①減免対象者 福井県陽子線がん治療センターで陽子線治療を受ける者であり、その者が陽子線治療を受けることの同意書を提出した時点において、引き続き1年 以上県内に住所を所有している者。</p> <p>②減免額 1治療あたり250千円（定額）</p> <p>③減免の手続き 減免対象者が、「福井県立病院使用料および手数料徴収条例施行規則」に基づき、使用料免除申請書を陽子線がん治療センターに提出する。</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		28,500	29,250	33,750	25,750	28,250	28,250	28,250				
2月現計予算額の推移		19,250	29,250	18,250	17,750							
決算額の推移		18,000	20,500	15,574								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	陽子線がん治療センター 利用者数（県内）	(114) 実績 74	(117) 85	(135) 61	(103)	(113)			陽子線がん治療センター利用者数の県内利用割合			
	活動指標	(目標) 実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		事業主体		県		
予算額	28,250			(繰入) 28,250				事業実施方法		減免		
								補助率		1治療あたり250千円		

事業評価

事業名	陽子線がん治療費等助成事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県の陽子線がん治療費については全国の施設の中で最も安価な額としているが、陽子線がん治療が最先端の治療法であるがゆえに、現在、公的医療保険の適用がなされておらず、高額な治療費は全額自己負担となっている。</p> <p>このため、陽子線がん治療を受ける県民の経済的負担を軽減し、より多くの県民が陽子線がん治療を受けやすくするため、県民が陽子線がん治療を受ける場合に治療費の一部を減免する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
陽子線がん治療センター治療患者（県内）				113人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）		市町との連携状況	—			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
H27助成実績：61人				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

嶺南地域住民交通費助成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な社会]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H32 年度
		政策	[先進的な医療と福祉]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等			[第6次 福井県医療計画]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
<p>嶺北地域の住民と比べて陽子線がん治療センターまでの距離が著しく遠い嶺南地域の住民の経済的負担を軽減し、陽子線がん治療を受けやすくする環境を整えるため、嶺南地域に居住する患者に対して、通院に係る交通費の一部を助成する。</p>												
[事業内容]												
<p>○嶺南地域住民交通費助成事業</p> <p>①補助対象者 福井県陽子線がん治療センターで陽子線治療を受けた者であり、その者が陽子線治療を受けることの同意書を提出した時点において、1年以上県内に居住し嶺南地域に住所を有している者。</p> <p>②助成額 通院1回あたり3千円（※3千円×陽子線治療通院回数＝助成額として算出）</p> <p>③申請時期 陽子線治療終了時</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,188	1,380	1,560	1,170	1,080	1,080	1,080				
2月現計予算額の推移		1,188	1,380	936	1,326							
決算額の推移		798	393	324								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	嶺南地域治療患者数	(目標)	(10)	(18)	(20)	(15)	(15)		陽子線がん治療センター利用数の約6%			
		実績	9	10	6							
活動指標		(目標)										
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	1,080			(繰入)	1,080	事業実施方法		補助				
						補助率		通院1回あたり3千円				

事業評価

事業名	嶺南地域住民交通費助成事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>嶺北地域の住民と比べて、陽子線がん治療センターまでの距離が著しく遠い嶺南地域の住民の経済的負担を軽減し、陽子線がん治療を受けやすくする環境を整えるため、嶺南地域に居住する患者に対して、通院に係る交通費の一部を助成する。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
陽子線がん治療センター治療患者（嶺南居住）				15人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
H27助成実績：6人					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

陽子線がん治療資金利子補給金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H22 年度	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等		政策 [先進的な医療と福祉]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	経過年数		8 年		
[事業目的]												
陽子線治療を希望する患者の経済的負担を軽減し、より多くの県民が陽子線治療を受けることができるよう、金融機関から陽子線治療に係る費用の融資を受けた場合、支払利子に対して助成する。												
[事業内容]												
<p>○利子補給対象者 次のいずれにも該当する者</p> <p>①福井県陽子線がん治療センターで陽子線治療を受ける者であり、その者が陽子線治療を受けることの同意書を提出した時点において、引き続き1年以上県内に住所を有している者。</p> <p>②課税総所得が600万円以下の世帯に属する者（「高額療養費制度」の一般および低所得者）</p> <p>○借入限度額 2,350千円（各々の患者における陽子線治療費相当額以内）</p> <p>○借入対象金融機関 銀行法、中小企業等協同組合法、信用金庫法、労働金庫法、農業協同組合法、水産業協同組合法に基づき個人向けに融資を行う金融機関</p> <p>○対象利率限度 年利率6%以内</p> <p>○利子補給額 ・所得税非課税世帯 10/10 ・所得税課税世帯で課税総所得が600万円以下の世帯 1/2</p> <p>○補給対象期間 第1回利子支払日より5年以内</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		371	263	376	422	413	413	413				
2月現計予算額の推移		371	263	376	422							
決算額の推移		11	23	63								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	利子補給活用患者数	(目標) 2	(4) 2	(6) 2	(8)	(5)			新規利用者数2名			
	実績											
活動指標	(目標)											
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	413				413	事業実施方法		補助				
						補助率		所得税非課税世帯10/10、所得税課税世帯で課税総所得が600万円以下の世帯1/2				

事業評価

事業名	陽子線がん治療資金利子補給金	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
陽子線治療を希望する患者の経済的負担を軽減し、より多くの県民が陽子線治療を受けることができるよう、金融機関から陽子線治療に係る費用の融資を受けた場合、支払利子に対して助成する。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
陽子線がん治療センター治療患者（金融機関から陽子線治療に係る費用の融資を受けた者）				5人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
H27助成実績：2人					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

陽子線がん治療高度化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度 H23 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度	H32 年度
		政策 [先進的な医療と福祉]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等		[第6次 福井県医療計画]			<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> その他				
[事業目的]											
陽子線治療対象疾患を拡大するとともに治療効果の高い新たな治療法を開発し、陽子線がん治療センター利用者数の増加をめざす。											
[事業内容]											
乳がん治療法の開発 ○研究班会合の開催 ○効果安全性委員会の開催 ○臨床試験用機器の購入経費（ポーラス・コリメータ加工委託、PET薬剤、固定ブラジャー）											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		27,906	53,662	8,534	5,872	5,872	5,872	5,872			
2月現計予算額の推移		26,735	40,790	4,154	1,265						
決算額の推移		26,282	37,142	2,624							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	陽子線がん治療センター 利用者数 (目標)	(154)	(220)	(187)	(205)	(225)			前年度比10%増		
	実績	186	187	128							
活動指標	(目標)										
	実績										
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	5,872	4,110			1,762	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	陽子線がん治療高度化推進事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>乳がんでは、局所の腫瘍を消失させるとともに治療後に美容上の問題（乳房の傷跡や皮膚の硬化、変色など）が生じない治療法が強く求められている。また、乳房温存術の発展により以前の治療法と比較して美容上の問題に対する患者の満足度は増しているものの、腫瘍の大きさや位置によっては必ずしも十分な状況になく、陽子線による治療が強く求められている。</p> <p>しかしながら、乳房を固定する技術が確立していないことから、乳がんを陽子線治療の対象疾患とできていない。このため、乳房を固定する技術を開発し、患者が美容上も満足できる陽子線治療法を確立する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
陽子線がん治療患者				225人			
他県の状況	乳がん臨床試験（H28.9現在） メディポリス国際陽子線治療センター 放射線医学総合研究所（千葉県）	前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況		—			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
H27年度乳がん臨床試験の問合せ状況：58件				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

陽子線がん治療センター体制強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H32 年度	H32 年度
		政策 [先進的な医療と福祉]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等		[第6次 福井県医療計画]			<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> その他				
[事業目的]											
陽子線治療の効果向上や患者負担軽減、利用者増加につながる研究を進めていくとともに、石川県・富山県の主要病院と、陽子線がん治療のネットワークを構築し、北陸に置ける陽子線治療の拠点的地位の確立を目指す。											
[事業内容]											
陽子線がん治療センター体制強化事業											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 陽子線治療研究所において、陽子線治療の効果向上、患者負担の軽減につながる研究を推進 ・ 北陸陽子線がん治療ネットワーク推進会議を開催 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				8,607	10,504	3,815	3,815	3,815	平成29年度から利用促進のための事業費を病院会計で計上		
2月現計予算額の推移				8,607	10,504						
決算額の推移				7,713							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	陽子線がん治療センター 利用者数	(目標) (154)	(220)	(187)	(205)	(225)					
		実績 186	187	128							
活動指標		(目標)									
		実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	3,815				3,815	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	陽子線がん治療センター体制強化事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
陽子線治療の効果向上や患者負担軽減、利用者増加につながる研究を進めていくとともに、石川県・富山県の主要病院と、陽子線がん治療のネットワークを構築し、北陸における陽子線治療の拠点的地位の確立を目指す。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
陽子線がん治療センター治療患者				225人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
平成27年度に陽子線治療研究所を設置		平成29年度から利用促進のための事業費を病院会計で計上			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 6,689
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

遠隔医療設備整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H14 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策 []			<input type="checkbox"/> 県単		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	経過年数	16 年			
			[第6次福井県医療計画]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
情報通信技術を応用した遠隔医療を実施する医療機関を支援することで、医療の地域格差や医師の偏在を解消し、医療の質及び信頼性を確保する。												
[事業内容]												
(1) 補助対象		都道府県、市町村、厚生労働大臣が認める者										
(2) 補助率		1 / 2 (国庫 10 / 10)										
(3) 実施施設		1 医療機関										
(4) 対象経費		遠隔医療の実施に必要なコンピュータ機器・通信機器等										
(5) 補助額基準額		支援側 : 4,514千円 依頼側 : 13,940千円 × 1/2										
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移			1,489			6,970						
2月現計予算額の推移			1,204									
決算額の推移			1,204									
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新たに遠隔医療が実施された機関数 (目標)			(1)		(1)			遠隔医療を開始する医療機関数			
	実績			1								
活動指標	遠隔医療設備整備支援数 (目標)			(1)		(1)						
	実績			1								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		地域医療支援病院				
予算額	6,970	6,970				事業実施方法		補助				
						補助率		県 1 / 2 医療機関 1 / 2				

事業評価

事業名	遠隔医療設備整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>医療提供体制が整備されていない地域や医師が不足する地域では、診療や治療を受けられない診療科などが存在してしまう。そのため、迅速な対応ができないことが課題である。これらの問題を解消する一つの方法として遠隔地にいながら診察や治療ができる医療が遠隔地医療であり、このような体制整備を支援することで医療の地域間格差を解消する必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
遠隔医療の支援を受ける医療機関、住民							
他県の状況	国庫制度であり、全国的に実施	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

医療情報システム整備促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度	事業終了 予定年度	H37 年度
関連する県の計画等		政策 [先進的な医療と福祉]			□ 県単		■ 補助金	□ 経過年数				
			[福井県地域医療構想]			□ その他	□ その他					
[事業目的]												
<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、「病院完結型」の医療から、地域で治し支える「地域完結型」の医療への転換を図るため、地域の地域包括ケアを担う病院の診療情報の電子化に対し助成し、ふくいメディカルネットとの接続により県内の地域医療支援病院等の医師との連携強化（カルテ情報の相互閲覧）や高度な医療機器の活用促進（CT、MRI画像の相互閲覧）を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>○各医療機関が診療情報を共有するための電子カルテの整備 補助対象者：病院 補助対象経費：カルテやCT画像の電子化など医療情報システムの導入に必要な設備整備 補助基準額：300床未満：220,000千円 補助率：1/2</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		650,007		156,740		110,000	110,000	110,000				
2月現計予算額の推移		640,887		156,740								
決算額の推移		640,887		155,844								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ふくいメディカルネットに情報開示病院として参加する医療機関数	(目標)	(14)	(15)	(17)	(20)	(21)	(22)	200床以上の大規模病院または一般病床100床以上の急性期病院24病院			
		実績	14	15	17	20						
活動指標	電子カルテを導入する医療機関数	(目標)										
		実績	2		2		1					
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		事業主体	医療機関			
予算額	110,000			(繰入) 110,000				事業実施方法	補助			
								補助率	県1/2 医療機関1/2			

事業評価

事業名	医療情報システム整備促進事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>病床機能（急性期、回復期、慢性期）を分化して、各医療機関が質の高い医療を提供しつつ、急性期からリハビリ、さらには在宅医療まで一貫した切れ目のない医療を提供していくためには、診療情報（カルテ情報、CT、MRI画像等）を共有していくことが必要である。</p> <p>※遠方の医療機関で受けた治療、検査等のデータを身近なかかりつけの診療所等において閲覧できることで、切れ目のない医療を実現し、患者にとっては身近なところで安心して医療を受けることができる。また、閲覧機関側も紹介した患者の紹介先での経過を確認でき、退院後の受入をスムーズに行うことができる。</p>								
[受益者] 入院患者				[想定される受益者数]] 約8,000人/日				
他県の状況	<input type="radio"/> 長崎県 あじさいネット（H16運用開始） 情報開示病院 31施設 閲覧施設数 265施設（うち薬局47施設） 患者登録数 58,359名 <input type="radio"/> 石川県 いしかわ診療情報共有ネットワーク（H25運用開始） 情報開示病院 33施設 閲覧施設数 376施設 患者登録数 19,592名 <input type="radio"/> 岡山県 晴れやかネット（H25運用開始） 情報開示病院 51施設 閲覧施設数 426施設 患者登録者数 11,083名	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域医療連携システム構築事業 （役割分担） 医療情報システム促進事業・・・地域医療連携システムの開示病院となるにあたっての電子カルテ整備補助（補助対象：医療機関） 地域医療連携システム構築事業・・・地域医療連携システムに接続するにあたってのネットワーク構築費、端末導入費等の補助（補助対象：県医師会）	市町との連携状況						
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

産科医療機関施設等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉]			事業区分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H37 年度
関連する県の計画等			[福井県地域医療構想]								

[事業目的]

減少する分娩取扱医療機関の施設・設備整備を支援し、身近な地域の診療所で安心して出産できる環境を整備する。

[事業内容]

(1) 施設整備

- ①補助対象者 分娩を取り扱っている診療所
- ②補助内容 分娩室、病室等または遠隔地からの妊婦およびその家族のための宿泊施設の新築、増改築および改修に要する工事費等
- ③基準額 面積上限×単価上限（ただし、補助の対象は整備費が200万円以上のもの）
 - ア 面積上限：診療部門…分娩室、病室等30㎡ 宿泊施設…室数×40㎡（ただし2室を限定）
 - イ 単価上限：診療部門…176,300円/㎡ 宿泊施設…196,700円/㎡

(2) 設備整備

- ①補助対象者 分娩を取り扱っている診療所
- ②補助内容 分娩台、超音波診断装置、分娩監視装置等の購入
- ③基準額 8,921千円（ただし、補助の対象は1品につき価格が10万円以上のもの）

(3) 産科医等分娩手当

- ①対象施設 分娩取扱施設（県内21施設） うち助成申請見込施設（7）
- ②対象経費 産科・産婦人科医及び助産師に対して、分娩取扱件数に応じて支給される手当（1分娩当たり10,000円（上限））

（単位：千円）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由
当初予算額の推移	/	/	53,190	22,660	32,227	32,227	32,227	申請してきた分娩取扱医療機関が増加したため H28 2カ所→H29 6カ所
2月現計予算額の推移	/	/	53,180	22,660				
決算額の推移	/	/	44,579					

[成果指標等の推移]

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	分娩取扱医療機関数 (目標)	/	/	(19)	(19)	(18)	(18)	減少する分娩取扱医療機関に支援を行い、医療機関数の減少を防ぐ
	実績	/	/	19	18			
活動指標	補助申請医療機関数 (目標)	/	/	(15)	(2)	(6)	(6)	10カ所ある分娩取扱診療所に対して補助が必要な医療機関に行っていく
	実績	/	/	13	2			

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	分娩取扱診療所
予算額	32,227			(繰入) 32,227		事業実施方法	補助
						補助率	(1)、(3) 県1/3, 主体2/3, (2) 県1/2, 主体1/2

事業評価

事業名	産科医療機関施設等整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>これまで地域医療再生基金（H21～H25）を活用し、総合周産期母子医療センターの整備や健診機関と分娩機関の連携を図るセミオープンシステムの導入など周産期医療体制の充実を図ってきた。しかし、分娩取扱医療機関数の減少が分娩数の減少より速いことから分娩取扱医療機関の施設・設備整備を先駆けて支援し、医療機関数の減少を抑制するとともに、身近な地域の診療所で安心して出産できる環境を整備する必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
分娩を取り扱っている診療所								
他県の状況	施設整備…富山県、石川県では実施なし 分娩手当…茨城県、大分県を除く全県で実施			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 産科医師手当支援事業 (実績) 産科・産婦人科医及び助産師に対して、分娩取扱件数に応じて支給される手当（1分娩当たり10,000円（上限）） 平成27年度実績…5医療機関への補助			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
平成28年度補助予定…2施設					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域包括ケア病院等整備事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠 ビジョン		[元気な社会]			事業 区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度	H37 年度
	政策		[先進的な医療と福祉]				□ 県単	■ 補助金				
関連する県の計画等			[福井県地域医療構想]			□ その他	□ その他					
[事業目的]												
<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、「病院完結型」の医療から、地域で治し支える「地域完結型」の医療への転換を図るため、医療機関の病床機能（急性期、リハビリ、慢性期等）を分化し、患者の病状に即した適切な医療を適切な場所で受診できる環境を整備する。</p>												
[事業内容]												
<p>○回復期病棟や在宅療養を支援する診療所の施設・設備整備</p> <p>①急性期病院から患者を受け入れるために必要な施設（施設に付随する設備整備を含む）の新築、増改築</p> <p style="margin-left: 20px;">補助対象者：回復期の病床を整備する二次救急医療機関 診療所への転換整備に係る経費</p> <p style="margin-left: 20px;">補助対象経費：回復期病棟の施設整備に係る経費、診療所への転換整備に係る経費</p> <p style="margin-left: 20px;">補助率：1/2</p> <p>②質の高いリハビリテーションを行うために必要な設備の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">補助対象者：医療機関</p> <p style="margin-left: 20px;">補助対象経費：リハビリテーション機器の整備、地域包括ケア病棟の運営に必要なシステム整備、認知症患者を受け入れるための設備整備</p> <p style="margin-left: 20px;">補助基準額：10,800千円</p> <p style="margin-left: 20px;">補助率：1/2</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移			22,390	513,063	488,657	749,961	126,556	300,000	申請件数の増			
2月現計予算額の推移			22,390	513,063	97,106							
決算額の推移			14,955	512,930								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	回復期を担う病床数	(目標)							目標：2,645床（地域医療構想に定める2025年の必要病床数） 実績：回復期機能の病床数（病床機能報告）			
		実績		940	1,032							
活動指標	回復期を担う病床整備数	(目標)		(118)	(74)	(216)						
		実績		118	74	153						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	医療機関					
予算額	749,961			(繰入) 749,961		事業実施方法	補助					
						補助率	県1/2 医療機関1/2					

事業評価

事業名	地域包括ケア病院等整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>医療や介護の必要性が高まる75歳以上の県民の高齢者は、2025年には14万人となり、2010年比で1.3倍となる。それに伴い、脳卒中や肺炎、骨折など高齢者に多い病気が増え、救急治療の後も回復期に時間がかかる人が多くなる。</p> <p>このため、医療機関の病床を①重症患者の集中治療等を行う「高度急性期」②一般的な救急に対応する「急性期」③リハビリや退院支援に力を入れる「回復期」④長期療養を担う「慢性期」に分けた上で、不足するリハビリや在宅復帰を目指す回復期のベッドを充実させ、入院患者がなるべく早く社会復帰できる医療提供体制をつくる必要がある。</p>								
[受益者] 入院患者				[想定される受益者数]] 約8,000人/日				
他県の状況	全都道府県が地域医療構想を作成し、回復期など不足する病床を整備していく。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
平成28年度補助予定…4医療機関		更なる回復期病棟の充実のためリハビリ室設備整備などを補助対象とした。			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

外来診療特化・機能強化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H37 年度
関連する県の計画等		政策 [先進的な医療と福祉]			□ 県単		■ 補助金	□ その他			
[事業目的]											
<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、「病院完結型」の医療から、地域で治し支える「地域完結型」の医療への転換を図るため、医療機関の病床機能（急性期、リハビリ、慢性期等）を分化し、患者の病状に即した適切な医療を適切な場所で受診できる環境を整備する。</p>											
[事業内容]											
<p>○病床を削減し、外来診療を強化するために必要な施設・設備の整備 補助対象者：病院、有床診療所（平成29年度…1医療機関） 補助対象経費：診療所の新築、増改築、改修 医療機器整備 補助基準額：施設整備：24,992千円 設備整備：16,200千円 補助率：1/2</p>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						20,596	41,192	41,192			
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	県内の一般病床および療養 病床数 (目標) 実績			9,994	(9,894)	(9,794)	(9,694)	(9,594)	指標：7,591床（地域医療構想に定める2025年の必要病床数） H27：9,994床（内、休床343床）		
活動指標	削減する病床数 (目標) 実績					(19)	(38)	(38)			
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		医療機関			
予算額	20,596			(繰入) 20,596		事業実施方法		補助			
						補助率		県1/2 医療機関1/2			

事業評価

事業名	外来診療特化・機能強化事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>医療や介護の必要性が高まる75歳以上の県民の高齢者は、2025年には14万人となり、2010年比で1.3倍となる。それに伴い、脳卒中や肺炎、骨折など高齢者に多い病気が増え、救急治療の後も回復に時間がかかる人が多くなる。このため、回復期の病床を確保しつつ、慢性疾病を抱える患者に対応するため、過剰な機能の病床を削減しつつ、在宅医療や外来機能を強化していく必要がある。</p>								
[受益者] 入院患者				[想定される受益者数]] 約8,000人/日				
他県の状況	5県が地域医療構想の必要病床数に収れんさせるため、病床削減に対し補助を行っている。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

共同利用施設設備整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H29 年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策 []			<input type="checkbox"/> 県単		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他			
[第6次福井県医療計画]											
<p>[事業目的]</p> <p>県では医療機関の役割分担を進めるとともに、医療機関相互の患者紹介など、地域医療の連携を図り、県民への「かかりつけ医」の定着を図っている。このため、地域医療連携の担い手となり、かかりつけ医を支援する地域医療支援病院を指定している。今回、地域医療支援病院である福井赤十字病院が実施する、高度・専門的医療に必要な機器の整備に補助し、医療機関の役割分担と連携を強化させる。</p>											
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 補助対象 地域医療支援病院または共同利用委員会を設立し共同利用を行う医療機関</p> <p>(2) 補助率 1 / 3 (国庫 10 / 10)</p> <p>(3) 実施施設 3 医療機関</p> <p>(4) 対象経費 地域医療支援病院として必要な共同利用高額医療機器</p> <p>(5) 補助額基準額 216,000千円 (基準額) × 1/3 = 72,000千円</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				70,776	72,000	125,915					
2月現計予算額の推移				40,082	35,446						
決算額の推移				40,082							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	地域医療支援病院数 (目標)			(4)	(4)	(4)			地域医療支援病院として地域医療に貢献する医療機関数		
	実績			4	4						
活動指標	設備整備支援数 (目標)			(1)	(1)	(3)					
	実績			1	1						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		地域医療支援病院			
予算額	125,915	125,915				事業実施方法		補助			
						補助率		県 1 / 3 地域医療支援病院 2 / 3			

事業評価

事業名	共同利用施設設備整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>地域医療支援病院は、地域の医療機関を後方支援し、医療機関相互の患者紹介や医療機器との共同利用を推進するなど、地域の医療機関の連携を推進し、県民に適切な医療を提供できる体制を整備することが求められている。 地域医療支援病院：県立病院、赤十字病院、済生会病院、循環器病院</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
地域医療支援病院、住民							
他県の状況	国庫制度であり、全国的に実施	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度補助予定…1医療機関				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

がん診療施設設備整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H20 年度	事業終了予定年度	H37 年度
関連する県の計画等		政策 []			<input type="checkbox"/> 県単		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	経過年数	10 年			
			第6次福井県医療計画			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
県内どこでも質の高いがん医療を受けることができるよう、5つのがん診療連携拠点病院を整備し、より質の高いがん医療を受けることができるよう補助を行う。												
[事業内容]												
○がん診療連携拠点病院に対して医療機器等の設備整備の補助を行う												
①補助対象者 がん診療連携拠点病院（県立病院、福井大学医学部附属病院、済生会病院、赤十字病院、国立病院機構敦賀医療センター）												
②補助内容 がん診療施設として必要ながんの医療機器および臨床検査機器等の備品購入費に対する補助												
③基準額 32,400千円												
④補助率 1/3												
⑤H29年度補助事業者 1カ所												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	3,125	16,384	29,137	2,527	21,600	21,600	申請数の減少			
2月現計予算額の推移		/	3,125	16,384	29,137							
決算額の推移		/	2,976	13,881								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	がん診療連携拠点病院数	(目標)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	がん診療連携拠点病院に支援を行い、医療機関の減少を防ぐ			
		実績	5	5	5							
活動指標	補助医療機関数	(目標)	/	(2)	(2)	(3)	(1)	(1)	5カ所あるがん診療連携拠点病院に対して補助が必要な医療機関に行っていく			
		実績	/	1	2	3						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		がん診療連携拠点病院				
予算額	2,527			(繰入) 2,527		事業実施方法		補助				
						補助率		県1/3 医療機関2/3				

事業評価

事業名	がん診療施設設備整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成20年度から平成26年度まで医療提供体制推進事業費補助金等の事業になっていたが、平成27年3月19日付で厚生労働省医政局地域医療計画課から「医療提供体制推進事業費補助金等の事業の一部廃止について」の通知があり、「がん診療施設設備整備事業」は地域医療介護総合確保基金の対象事業となった。</p> <p>本県では、平成19年1月に県内どこでも質の高いがん医療を受けることができるよう、5つのがん診療連携拠点病院（県立病院、福井大学医学部附属病院、済生会病院、赤十字病院、国立病院機構敦賀医療センター）を整備している。がん診療施設として必要ながん医療機器および臨床検査機器等の備品購入の補助を行うことで、より質の高いがん医療を受けられるようにする必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
がん診療連携拠点病院				約20,000人			
他県の状況	全国的に補助を行っている。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度補助予定…3医療機関				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

病院群輪番制病院設備整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 S54 年度 経過年数 38 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[第6次福井県医療計画]								
[事業目的]											
<p>病院群輪番制病院制度は、休日およびその夜間の重症救急患者の受入先を確保するため、昭和53年度から開始され、嶺北7病院、嶺南2病院で実施し、各地域における二次救急医療の核となっている。輪番制病院の設備整備に対して補助を行うことで、救急医療体制の充実を図る。</p>											
[事業内容]											
<p>1 補助対象病院 病院群輪番制病院（平成29年度 3医療機関）</p> <p>2 補 助 率 2 / 3（国1 / 2 県1 / 2）</p> <p>3 補 助 対 象 病院群輪番制病院として必要な医療機器の購入費</p> <p>4 補助基準額 補助額 21,600千円（基準額）× 2/3 = 14,400千円</p>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		21,483	14,400	28,800	14,400	39,984			申請件数の増		
2月現計予算額の推移		21,483	14,400	28,800	15,264						
決算額の推移		18,830	14,400	28,800							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	輪番病院数	(目標) (9)	(9)	(9)	(9)	(9)			輪番制参加医療機関の確保数		
		実績 9	9	9	9						
活動指標	設備整備支援数	(目標) (2)	(1)	(2)	(2)	(4)					
		実績 2	1	2	2						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		輪番制病院			
予算額	39,984	19,992			19,992	事業実施方法		補助			
						補助率		県2 / 3 輪番制病院1 / 3			

事業評価

事業名	病院群輪番制病院設備整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>救急医療機関による診療体制を補完するため、嶺北7病院、嶺南2病院が輪番により休日とその夜間の二次救急医療を実施しており、救急医療の確保するためには欠かすことのできない制度となっている。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
輪番制病院、住民							
他県の状況	国庫制度であり、全国的に実施	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度補助予定…2医療機関				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

救命救急センター施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[第6次福井県医療計画]									
[事業目的]												
救命救急センターの機能を十分に確保していくため、救命救急センターとして必要な施設整備に対して支援を実施する。												
[事業内容]												
①補助対象者 病院 ②補助内容 救命救急センターとして必要な部門の新築、増改築に要する工事費または工事請負費 ③基準額 面積上限 2,300㎡（ただし30床未満の場合は1床あたり30㎡を減じる） 単価上限 197,000円/㎡ ④補助率 1/3												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	/	/	4,683	/	/				
2月現計予算額の推移		/	/	/	/	/	/	/				
決算額の推移		/	/	/	/	/	/	/				
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	救命救急センター数	(目標)	/	/	/	(2)	/	/	救命救急センター数の維持			
		実績	/	/	/	/	/	/				
活動指標		(目標)	/	/	/	/	/	/				
		実績	/	/	/	/	/	/				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		医療機関				
予算額	4,683	4,683				事業実施方法		補助				
						補助率		県1/3 医療機関2/3				

事業評価

事業名	救命救急センター施設整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>県内には、嶺北、嶺南に各1か所救命救急センターが設置されており24時間対応を行っている。重篤な救急患者に対して高度で総合的な医療を提供するため、受け入れる環境を確保する必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県民、救命救急センター設置病院				約15,000人				
他県の状況	全国的に行っている			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度	H37 年度
関連する県の計画等		政策	[]		<input type="checkbox"/> 県単		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	経過年数		4 年		
			[]		<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
平成25年度10月に発生した福岡市の有床診療所での火災を受けて、防火対策として病院・有床診療所等に対してスプリンクラー等の防火設備の整備を支援する。												
[事業内容]												
①補助対象者 病院、有床診療所 (1)一カ所 補助額 41,545千円												
②補助内容 スプリンクラー等の防火設備の整備のための工事費または工事請負費												
③基準額 17,500円×対象面積												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	/	127,000	212,330	61,582	41,545	41,545	41,545	申請数の減				
2月現計予算額の推移	/	213,167	97,421	20,037								
決算額の推移	/	211,192	97,421									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県内整備率 (目標)	/	(84.7%)	(83.5%)	(84.7%)	(87.1%)	(89.4%)	(89.4%)	スプリンクラーの設置義務がある施設の県内整備率			
		実績	/	78.8%	83.5%							
活動指標	スプリンクラー整備支援数 (目標)	/	(27)	(9)	(2)	(1)	(2)	(2)				
		実績	/	9	5							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	病院・有床診療所					
予算額	41,545	41,545				事業主体	補助					
						事業実施方法	定額					
						補助率	定額					

事業評価

事業名	有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
平成25年10月に福岡市で発生した有床診療所での火災を受けて、防火対策として病院・有床診療所等に対してスプリンクラー等の防火設備の整備を支援する方針が国で取られた。それを受け、本県においても病院・有床診療所に対して必要な設備整備を支援する。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
病院・有床診療所								
他県の状況	全国的に行っている。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
平成28年度補助予定…1医療機関					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域医療介護総合確保基金（医療分）運用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な社会]			事業 区 分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度 H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H37 年度	H37 年度												
		政策	[先進的な医療と福祉]				□ 県単	□ 補助金															
関連する県の計画等			[福井県地域医療構想]				□ その他	■ その他															
[事業目的]																							
<p>国の医療介護提供体制改革推進交付金を活用し、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築することを通じ、地域における医療および介護の総合的な確保を推進するための基金を積み立てる。</p>																							
[事業内容]																							
○事業内容																							
<p>地域医療介護総合確保基金の積立て（29年度交付金） 「病床の機能分化・連携」「在宅医療・介護サービスの充実」「医療従事者等の確保・養成」に向けた事業を実施。</p> <p>平成29年度基金積立額 976,843千円（財源：医療介護提供体制改革推進交付金（2/3）、一般財源（1/3）） 利息2,188千円</p> <p>【これまでの造成額】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">平成26年度</td> <td style="width: 20%;">844,303千円</td> <td style="width: 20%;">（うち、原資 844,175千円</td> <td style="width: 20%;">運用利息 128千円）</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,517,433千円</td> <td>（うち、原資1,516,781千円</td> <td>運用利息 652千円）</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,143,497千円</td> <td>（うち、原資1,140,000千円</td> <td>運用利息 3,497千円）</td> </tr> </table>												平成26年度	844,303千円	（うち、原資 844,175千円	運用利息 128千円）	平成27年度	1,517,433千円	（うち、原資1,516,781千円	運用利息 652千円）	平成28年度	1,143,497千円	（うち、原資1,140,000千円	運用利息 3,497千円）
平成26年度	844,303千円	（うち、原資 844,175千円	運用利息 128千円）																				
平成27年度	1,517,433千円	（うち、原資1,516,781千円	運用利息 652千円）																				
平成28年度	1,143,497千円	（うち、原資1,140,000千円	運用利息 3,497千円）																				
[予算額の推移等] （単位：千円）																							
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由															
当初予算額の推移			851,240	839,863	976,843	100,000	100,000	当初予算においては、事業費と同額を計上。交付決定後に補正を行っている。															
2月現計予算額の推移		844,527	1,519,737	1,143,497																			
決算額の推移		844,303	1,518,654																				
[成果指標等の推移]																							
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠															
成果指標	回復期を担う病床数	(目標)	(940)	(1,058)	(1,132)	(1,348)	(1,348)	目標：2,645床（地域医療構想に定める2025年の必要病床数） 実績：回復期機能の病床数（病床機能報告）															
		実績	940	1,032																			
活動指標	基金活用した事業数	(目標)	(20)	(24)	(30)	(34)																	
		実績	20	24	30																		
[財源内訳・事業主体等]																							
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県																
予算額	976,843	649,770		(財) 2,188	324,885	事業実施方法	積立																
						補助率																	

事業評価

事業名	地域医療介護総合確保基金（医療分）運用事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年を展望すれば、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進、医療・介護従事者の確保・勤務環境の改善等、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」が急務の課題である。</p> <p>このため、消費税増収分を活用した地域医療介護総合確保基金を各都道府県に設置し、各都道府県は、都道府県計画を作成し、当該計画に基づき事業を実施していくこととなった。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県民								
他県の状況	全国的に実施 都道府県計画に基づき、厚生労働省が交付額を決定			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域医療再生基金積立金運用事業 (実績) 平成27年度もって終了予定。			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
【これまでの造成額】 平成26年度 844,303千円 →活用実績：172,251千円 平成27年度1,516,781千円 →活用実績：1,005,645千円 平成28年度予定 1,140,000 →活用予定：898,787千円					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域医療構想推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な社会]			事業 区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H37 年度
		政策	[先進的な医療と福祉]				□ 県単	□ 補助金			
関連する県の計画等			[福井県地域医療構想]				□ その他	□ その他			
[事業目的]											
「病院完結型」の医療から、地域で治し支える「地域完結型」の医療への転換を進めるにあたり、医療機関相互の協議により、病床機能の分化・連携が円滑に進むよう、2025年の地域医療の姿を共有し、各医療機関が自ら自院の役割を選択できるよう支援する。											
[事業内容]											
<p>病床の機能分化・連携推進事業</p> <p>(1) 医療機関向け普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の開催 (2回開催) テーマ例：30年診療報酬の改定内容、介護療養病床の見直し ・地域別 (嶺北・嶺南) 説明会の開催 (2回開催 1回/医療圏) テーマ例：地域医療構想調整会議や病床機能報告の内容 ・ふくいメディカルネットの説明会 (2病院) <p>(2) 県民向け普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診等の機会を活用したリーフレットの配布 内容：かかりつけ医の普及啓発、病床の機能分化・連携、メディカルネットの普及等 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				2,187	1,803	1,693	1,693	1,693	医療機関を対象とした説明会の回数減		
2月現計予算額の推移				2,187	1,803						
決算額の推移				2,023							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	医療機関を対象とした説明会 への参加機関数			(60)	(60)	(60)			一般・療養病床を有する病院数		
	実績			149							
活動指標	医療機関を対象とした説明会 の開催数			(8)	(4)	(6)			講演会、説明会、ふくいメディカルネット講習会の開催数		
	実績			15							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	1,693			(繰入) 1,693		事業実施方法		委託			
						補助率					

事業評価

事業名	地域医療構想推進事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>病床の機能分化・連携は、構想を策定しただけでは実現は困難である。国の動向や診療報酬の改定、病床機能報告の説明など経営的な判断材料を提供し、県医師会と医療機関、県が連携して、各医療機関の意見調整など構想の実現に向けた取組みを行っていく必要がある。</p>								
[受益者] 入院患者				[想定される受益者数]] 約8,000人/日				
他県の状況	厚生労働省の地域医療構想ガイドラインにおいて、地域の医療関係者、保険者及び患者・住民の意見を聴く必要がある、となっている。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
平成27年度 説明会開催件数 15回 説明会参加施設 149施設					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域医療連携システム構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業開始年度 H24 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 H37 年度	H37 年度
		政策 [先進的な医療と福祉]			□ 県単		■ 補助金				
関連する県の計画等		[福井県地域医療構想]			□ その他		□ その他				
[事業目的]											
中核病院におけるカルテ等情報開示と地域のかかりつけ医による開示情報閲覧により、病診連携を強化することで急性期を過ぎた患者が住み慣れた地域で切れ目のない医療を受けられるような体制づくりを図る。											
[事業内容]											
○情報開示病院の追加 補助対象者：福井県医師会 補助対象経費：電子カルテ改修やネットワーク構築（サーバー、制御ソフトの設定等） 補助率：10/10											
○地域医療支援病院の診療情報（カルテ2号用紙、看護サマリー）の共有 補助対象者：福井県医師会 補助対象経費：電子カルテ改修 補助率：10/10											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		647,005	81,809	64,530	99,341	153,108	153,108	153,108	開示予定の病院の増		
2月現計予算額の推移		643,787	17,279	52,380	99,341						
決算額の推移		642,283	14,355	46,957							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	ふくいメディカルネットの患者登録数 (目標)		(5,000)	(10,000)	(15,000)	(20,000)	(25,000)	(30,000)	200床以上の大規模病院または一般病床100床以上の急性期病院24病院		
	実績		5,069	9,282							
活動指標	ふくいメディカルネットに情報開示病院として参加する医療機関数 (目標)		(14)	(15)	(17)	(20)					
	実績		14	15	17	20					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		事業主体	医療機関		
予算額	153,108			(繰入) 153,108				事業実施方法	補助		
								補助率	県10/10		

事業評価

事業名	地域医療連携システム構築事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>病床機能（急性期、回復期、慢性期）を分化して、各医療機関が質の高い医療を提供しつつ、急性期からリハビリ、さらには在宅医療まで一貫した切れ目のない医療を提供していくためには、診療情報（カルテ情報、CT、MRI画像等）を共有していくことが必要である。</p> <p>※遠方の医療機関で受けた治療、検査等のデータを身近なかかりつけの診療所等において閲覧できることで、切れ目のない医療を実現し、患者にとっては身近なところで安心して医療を受けることができる。また、閲覧機関側も紹介した患者の紹介先での経過を確認でき、退院後の受入をスムーズに行うことができる。</p>							
[受益者] 入院患者				[想定される受益者数]] 約8,000人/日			
他県の状況	<input type="radio"/> 長崎県 あじさいネット（H16運用開始） 情報開示病院 31施設 閲覧施設数 265施設（うち薬局47施設） 患者登録数 58,359名 <input type="radio"/> 石川県 いしかわ診療情報共有ネットワーク（H25運用開始） 情報開示病院 33施設 閲覧施設数 376施設 患者登録数 19,592名 <input type="radio"/> 岡山県 晴れやかネット（H25運用開始） 情報開示病院 51施設 閲覧施設数 426施設 患者登録者数 11,083名	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 医療情報システム整備促進事業 （役割分担） 医療情報システム促進事業・・・地域医療連携システムの開示病院となるにあたっての電子カルテ整備補助（補助対象：医療機関） 地域医療連携システム構築事業・・・地域医療連携システムに接続するにあたってのネットワーク構築費、端末導入費等の補助（補助対象：県医師会）		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度補助予定…2医療機関				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

へき地診療所設備整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉]			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H13 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[第6次 福井県医療計画]									
[事業目的]												
へき地の医療機関として、地域の医療確保に努めている診療所においては、施設や設備の老朽化が進み、日々の診療にも支障をきたしていることから、機器更新を行い、へき地医療の質的向上を図る。												
[事業内容]												
(1) 補助対象経費 へき地診療所として必要な医療機器の購入費等												
(2) 補助率 1/2 (国庫10/10)												
(3) 補助対象施設 1 医療機関												
(4) 購入設備 超音波診断装置(1式) 7, 344千円												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		7,688			6,128	3,672						
2月現計予算額の推移		7,688			6,264							
決算額の推移		6,615										
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	へき地診療所数	(目標) (13)	(11)	(11)	(11)	(11)						
		実績 13	11	11								
活動指標	へき地診療所整備支援数	(目標) (1)			(1)	(1)						
		実績 1										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		へき地診療所開設者				
予算額	3,672	3,672			0	事業実施方法		補助				
						補助率		県1/2 診療所開設者1/2				

事業評価

事業名	へき地診療所設備整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>地域の医療確保に努めている診療所においては、医療機器等が老朽化したり、地域住民の生活習慣の予防や生活習慣の改善を図るための環境が不足したりしている状況であり、医療の質向上を図る必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
診療所設置市町村				へき地住民数			
他県の状況	国庫制度であり、全国的に実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	市町が設置する診療所		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度補助予定医療機関 1施設		現在、11診療所がへき地診療所として診療にあたっているが、今後もへき地診療体制を確保し続けることが重要であり、継続して事業を実施していく。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

へき地巡回診療車整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉]			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[第6次福井県医療計画]									
[事業目的]												
地域の医療確保に努めている診療所において、地域に出向いて診療を実施しているが、車両の腐食や老朽化で運営に支障をきたしていることから、巡回車両の整備を行い、へき地医療の質的向上を図る。												
[事業内容]												
(1) 補助対象経費 へき地診療所として必要な巡回用診療車												
(2) 補助率 1 / 2 (国庫 10 / 10)												
(3) 実施施設 1 診療所												
(4) 購入設備 診療車両 1 台												
(5) 補助対象経費 1, 5 2 1 千円												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					700	700						
2月現計予算額の推移					700							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	へき地診療所数	(目標) (13)	(11)	(11)	(11)	(11)						
		実績 13	11	11	11							
活動指標	へき地巡回診療車支援数	(目標)			(1)	(1)						
		実績			1							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		へき地巡回診療実施市町				
予算額	700	700				事業実施方法		補助				
						補助率		県 1 / 2 診療所開設者 1 / 2				

事業評価

事業名	へき地巡回診療車整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
地域の医療確保に努めている診療所においては、地域に出向いて巡回診療等を実施しているが、移動手段である車両の腐食や老朽化で運営に支障をきたしている。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
診療所設置市町村				へき地住民数				
他県の状況	国庫制度であり、全国的に実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	市町は巡回診療所の実施主体であり、県は環境整備を支援			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
平成28年度 補助予定医療機関 1施設		現在、11診療所がへき地診療所として診療にあたっているが、今後もへき地診療体制を確保し続けることが重要であり、継続して事業を実施していく。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

院内保育所運営支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠 ビジョン	[元気な社会]			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 H37 年度
		政策	[地域医療の人材確保・体制強化]				<input type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金			
関連する県の計画等			[第6次 福井県医療計画]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他			
[事業目的]											
<p>出産や育児を原因とした女性医師や看護職員の離職を防止し定着を図るため、民間の院内保育所に対して支援を行う。</p>											
[事業内容]											
<p>(1) 補助要件 看護職員等医療従事者の離職防止を図るため、病院及び診療所が医療機関内に設置する保育所の運営に要する費用に対して補助する。</p> <p>(2) 補助率・補助金額 補助率 2/3 (ただしC型の場合は1/3) 補助金額 別に定める基準額により算定</p> <p>(3) 補助対象経費 人件費(常勤職員および非常勤職員の給与費、法定福利費)、委託費(人件費に該当する経費)</p> <p>※補助対象保育士数・・・A型特例/C型：1人 A型：2人 B型4人 B型特例6人 ※基本額と補助率・・・人件費単価：180,800円、収入相当額単価：24,000円 基本額算出方法：補助対象保育士人員×基本額単価×月-保育料収入相当額×調整率</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		15,884	14,740	14,648	16,005	20,149	20,149	20,149	対象となる院内保育施設の増により予算額が増額		
2月現計予算額の推移		7,880	11,795	12,140	16,005						
決算額の推移		7,312	8,537	9,979							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	看護職員従事者数	(目標) (11,948人)	(12,146人)	(12,357人)	(12,357人)	(12,357人)	(12,357人)	(12,357人)	目標：看護職員需給見通しによる需要数 実績：看護職員従事者届出による実数(隔年調査)		
		実績	—	11,775人	—	—	—	—			
活動指標	院内保育所設置医療機関数	(目標) (20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)			
		実績	21	21	20	22					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		病院(院内保育実施病院)			
予算額	20,149			(繰入) 20,149		事業実施方法		補助			
						補助率		2/3			

事業評価

事業名	院内保育所運営支援事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>看護師のワークライフバランスの推進により、夜勤免除や短時間勤務等が導入され、働きやすい体制づくりが整えられてきたことにより、夜間や延長保育の需要は少なくなっている。しかし、出産・育児等を理由に離職する看護師は多い。看護職や医師は資格が必要な専門職であり、看護師・医師不足の状況の中、人員の補充・代替職員の確保は難しい。</p> <p>よって、医療機関が院内保育を設置し、育児時間も活用しながら安心して仕事に従事することができる育児環境を整えることが必要である。</p> <p>看護師や女性医師の離職防止のため、離職防止・就業定着には欠かすことができない事業である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
看護職員								
他県の状況	47都道府県で院内保育所の運営や整備等の補助事業を実施している。 (～H25年度まで国庫補助事業)			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 労働局：事業所内保育施設運営等支援助成金 (役割分担) 労働局の助成金には、通常型・時間延長型・深夜延長型の3種の基準がある。助成期間は10年までとなっているが、助成額は県の額よりも高い。また、労働局の助成期間終了後に県の補助に切り替えて申請することはできない。			市町との連携状況	なし			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
H27年度：院内保育所設置医療機関は20あり、うち5機関が県補助、4機関が労働局助成を利用していた。 看護職員の従事者数は年々増加しているが、需要調査での供給数には達していない。		看護職員の従事者数を増加させるため、職場環境を整えることが重要であり、院内保育所を継続して行っていく。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

医師確保修学資金貸与事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [県民の健康サポート・システム] 政策 [地域医療の人材確保・体制強化]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H21 年度 経過年数 9 年	事業終了予定年度	H37 年度
関連する県の計画等			[第6次 福井県医療計画]								
[事業目的]											
地域医療に従事する医師を確保するため、県内の指定医療機関等に9年間勤務すれば返還が免除される修学資金を、福井健康推進枠の入学者および福井大学医学部医学科入学者に貸与する。											
[事業内容]											
(1) 貸与対象 ① 福井大学医学部医学科推薦入学特別選抜（福井健康推進枠）に合格し、入学した者 ② ①が10名に満たない場合、入学者選抜に合格し、入学した者の申請により貸与できる											
(2) 貸与人数 合計58人（平成23年度貸与者数～平成28年度貸与者数）											
(3) 貸与金額 第1年次 2,117,800円 第2～6年次1,735,800円、6年間合計10,796,800円）											
(4) 返還免除条件 県内の次の医療機関に9年間勤務すること。 ・医師免許取得後2年間－臨床研修病院で臨床研修 ・臨床研修終了後7年間－県または市町（組合）立の医療機関、大学病院、国立病院、社会保険病院等											
(5) 事業実施期間 従来5人枠 平成21年度～平成34年度（平成29年度入学者まで） 追加5人枠 平成22年度～平成36年度（平成31年度入学者まで）											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移	62,838	78,461	92,346	104,497	108,692	97,379	88,700	修学資金貸与者の増加			
2月現計予算額の推移	62,838	74,266	92,346	104,497							
決算額の推移	62,838	74,265	92,346								
[成果指標等の推移]											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	修学資金貸与者 (目標)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(5)	福井大学医学部推薦入試枠（福井健康推進枠）募集定員数		
	実績	10	10	10	10						
活動指標	県内高校説明会数 (目標)	(6)	(6)	(6)	(7)	(7)	(7)	(7)	過去5年間で医学部進学者が在席していた学校		
	実績	6	6	6	7						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県				
予算額	108,692			(繰入) 108,692	0	事業実施方法	修学資金の貸付				
						補助率					

事業評価

事業名	医師確保修学資金貸与事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>国の医師確保対策として、都道府県による奨学金の設定を条件に、全国の大学医学部の入学定員が増員された。福井大学医学部医学科においても平成21年度から入学定員が5人増員され、推薦入学特別選抜（福井健康推進枠）が実施され、22年度からさらに入学定員が5人増員された。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
福井大学医学部推薦入試「福井健康推進枠」入学者				91人			
他県の状況	石川県 石川県緊急医師確保修学資金貸与者 （金沢大学医薬保健学域医学類特別枠） 富山県 富山県地域医療確保修学資金貸与制度 （富山大学医学部医学科 特別入試 自己推薦入試「特別枠」対象） 富山県地域医療確保修学資金貸与制度 （金沢大学医薬保健学域医学類「推薦入試特別枠（富山県枠）」対象）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 医師確保研修資金貸与事業 （役割分担） 県内外の医学部医学科5、6年生、臨床研修1年目の医師を対象に、2年間の研修資金を貸与し、臨床研修修了後3年間の義務を課す。研修資金は修学資金よりも短期的での即効性のある医師確保を担うものである。	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成21～28年度貸与者数 71人				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

医師確保研修資金(短期)貸与事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [県民の健康サポート・システム] 政策 [地域医療の人材確保・体制強化]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H29 年度	H29 年度
関連する県の計画等			[第6次 福井県医療計画]								
[事業目的]											
県内の指定医療機関等に3年間勤務すれば返還が免除される研修資金を、医学部医学科の5・6年生、臨床研修1年目の医師に貸与することで、地域医療に従事する医師を確保する。											
[事業内容]											
(1) 貸与対象 ①大学や病院で臨床研修を行う研修医 ②医学部の5、6年生 ※ただし、内科・小児科など医師不足の診療科を優先して貸与											
(2) 貸与人数 5人(28年度5人) (貸与期間は2年間)											
(3) 貸与金額 年間 1,800千円											
(4) 返還免除条件 県内の指定医療機関において、臨床研修後3年間勤務すること。 指定医療機関：医師不足の県または市町(組合)立の医療機関、国立病院等											
(5) 事業実施期間 平成27年度～29年度											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				7,200	14,400	9,000			平成26年度は制度要求 平成28年度は予定採用数を1名増		
2月現計予算額の推移				7,200	14,400						
決算額の推移				7,200							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	研修資金貸与者 (目標)			(4)	(8)	(5)			県内外で開催される医学生対象の臨床研修病院の合同説明会への出展回数		
	実績			4	9						
活動指標	合同説明会でのPR回数 (目標)			(7)	(6)						
	実績			5	5						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県				
予算額	9,000			(繰入) 9,000	0	事業実施方法	修学資金の貸付				
						補助率					

事業評価

事業名	医師確保研修資金(短期)貸与事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>健康推進枠の医学部奨学生は、平成29年度から県内勤務を開始して年々人数が増加していくが、それまでの間は医師不足、診療科による医師の偏在が続いていく。このため、早急に医師を確保できるものとして、医学部の5、6年生や臨床研修医に対し、県内の指定医療機関等に3年間勤務すれば返還が免除される研修資金を貸与することで現在の貸与制度を補完する。</p> <p>※ただし、内科・小児科など医師不足の診療科を優先して貸与</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内外大学の短期奨学金貸与者				9人			
他県の状況	石川県 地域医療支援医師修学資金 富山県 地域医療再生修学資金（後期コース）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 医師確保修学資金貸与事業 (役割分担) 福井大学医学部推薦枠「福井健康推進枠」入学者1年生～6年生まで修学資金を貸し付け、臨床研修修了後9年間の義務年限を付すもので、中長期的な医師確保を目的としている。	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
平成28年度貸与者数 9人				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

医師に魅力のある研修システム・医師派遣システム構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業開始年度 H22 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 H37 年度	H37 年度
関連する県の計画等			政策 [地域医療の人材確保・体制強化]				□ 県単	□ 補助金			
[事業目的]											
<p>福井大学と連携して、研修医に魅力ある研修システムを構築するとともに、緊急的に県内の医師不足の公的病院、診療所に医師を派遣するシステムを構築し、地域に必要な医師の確保を図る。また、県および福井大学が、医師の確保、地域偏在の解消に取り組むとともに、県内の奨学生、臨床研修医、専門研修医に魅力的な研修の提供、キャリア形成の支援を行い、研修医・医師の県内定着を図る。</p>											
[事業内容]											
<p>(1) 平成22年4月、県の寄附により福井大学医学部に「地域医療推進講座」を設置。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>① 魅力ある研修システムの構築 (63,637千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【平成28年度追加業務】 奨学金貸与医師および医学生の勤務先およびキャリアの個別面談、県内医療機関との調整 県内医療機関の医師不足についての客観的分析手法の検討 専門医制度に係る情報収集・発信および助言 ・福井大学教官による県内医療機関への出張指導 [指導医師地域派遣・研修支援事業を統合] ・テレビ会議システムを活用した臨床教育 ・奨学金貸与医学生や県内研修医等の県内定着を促進する事業の実施 <p>② 医師不足の医療機関への医師派遣システムの構築 (28,800千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、8名程度の福井大学医学部附属病院の医師を、緊急的に県内医師不足の公的病院、診療所に派遣 (福井大学病院長および地域医療推進講座の教員が中心となり、派遣医師の調整を実施。派遣先は県と大学で調整し、地域医療対策協議会にて協議) 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移	75,000	75,000	75,000	92,437	92,437	92,437	92,437	指導医師地域派遣・研修支援事業を統合 奨学生との個別面談、医療機関との調整、医師不足の客観的分析手法の検討など、事業内容を拡充			
2月現計予算額の推移	75,000	75,000	75,000	92,437							
決算額の推移	75,000	75,000	75,000								
[成果指標等の推移]											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	医師不足の医療機関への 医師派遣数 (目標)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)		県内公的医療機関への指導派遣数			
	実績	9	10	11	13						
活動指標	福井大学教員による指導 (目標)	(72)	(72)	(100)	(100)	(100)					
	実績	99	97	398							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井大学				
予算額	92,437			(繰入) 92,437	0	事業実施方法	寄附、委託				
						補助率	-				

事業評価

事業名	医師に魅力のある研修システム・医師派遣システム構築事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>・毎年、県内医療機関から70人前後の医師派遣要望があるが、県から派遣できる医師は、自治医科大学卒業医師10名程度と県キャリアアップ後期研修医5名程度、および、本事業による10名前後であり、医師不足の医療機関に医師を派遣するための必要不可欠な事業になっている。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	石川県 29,000千円 ・指導医等研修会 ・奨学生の進路相談・助言 ・研修への補助 富山県 40,000千円 ・医学生、研修医に対する研修・助言	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 医師に魅力のある研修システム・医師派遣システム構築事業 (実績) ・大学教官による出張指導 年間約200回 ・テレビ会議システムを活用した臨床教育 年間約30回 ・研修医合同研修会(レジデントキャンプ) 年1回 ・福井大学特命医師派遣 年8人以上				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井県専門医キャリアアップ事業、医師派遣支援事業 (役割分担) 福井県専門医キャリアアップ事業では、救急医、家庭医、産婦人科医、小児科医の後期研修医を地域に派遣するが、当事業では、後期研修医に限らず、医局の若手の医師を派遣する。 医師派遣支援事業は、地域医療支援病院から医師不足医療機関への派遣を促す役割を果たしている。		市町との連携状況	—			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成27年度 県内公的医療機関への指導派遣数 398回				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

医師派遣支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業開始年度 H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H37 年度	H37 年度
関連する県の計画等			政策 [地域医療の人材確保・体制強化]				□ 県単	■ 補助金			
[事業目的]											
県内各地の医療機関における医療従事者の確保を図る。											
[事業内容]											
<p>県の要請に基づく医師派遣に伴う代替医師補充等経費の支援</p> <p>(1) 事業主体 地域医療支援病院（福井県立病院、福井赤十字病院、福井済生会病院、福井循環器病院）、その他の公的病院等</p> <p>(2) 補助率 県10/10</p> <p>(3) 補助対象経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ①派遣元の医療従事者の勤務負担軽減に係る経費 <ul style="list-style-type: none"> ・代替医師を補充する際の宿舍借上費等 ・医療事務作業補助者を新たに採用する経費 ②派遣元の医療従事者等（医師、看護師、理学・作業療法士等）のレベルアップに係る経費 <ul style="list-style-type: none"> ・海外研修費、学会等への参加経費や研修、資格取得等に係る経費（旅費、研修負担金等） ・医学関係文献の購入経費 <p>(4) 補助上限 360万円/常勤医師の派遣1人（1年間） （期間限定派遣や非常勤医師の派遣の場合の補助は、派遣割合により按分）</p>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				7,200	10,800	7,200	7,200	7,200			
2月現計予算額の推移			3,600	5,400	1,800						
決算額の推移			0	5,040							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	派遣人数	(目標)	(1人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	県内医療機関に対する実施意向調査		
		実績	0人	1.4人	0.5人						
活動指標		(目標)									
		実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		地域医療支援病院、その他の公的病院等			
予算額	7,200			(繰入) 7,200	0	事業実施方法		補助			
						補助率		県10/10			

事業評価

事業名	医師派遣支援事業		部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
[事業の必要性・要求の背景]									
<p>・毎年、県内医療機関から70人前後の医師派遣要望があるが、県からは30人前後の派遣に留まっている。 このため、地域支援病院等から医師不足の医療機関への医師派遣を促進する必要がある。</p>									
[受益者]					[想定される受益者数]				
他県の状況	・類似の事業なし。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 魅力ある医師の研修システム・医師派遣システム構築事業 (役割分担) 県からの医師派遣とは別に、地域医療支援病院からの派遣が可能となる。			市町との連携状況	なし				
[事業の評価]									
前年度の実績			実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
平成28年度実績見込み 医師不足医療機関への医師派遣数 0.5人、2か所						<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
						<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

初期臨床研修医確保のための情報発信・Uターン支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[県民の健康サポート・システム]			事業区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H18 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度	H37 年度
関連する県の計画等		政策	[地域医療の人材確保・体制強化]				□ 県単	□ 補助金				
[事業目的]												
県内に勤務する医師を確保するため、医学生向け就職説明会への出展や福井県独自の就職説明会を開催し、医学生および研修医に対して就職関連情報を発信するとともに、UターンIターンを支援する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ● 医学生向け情報発信、就職説明会への出展・開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床研修病院紹介冊子の作成 ・ 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会、レジナビフェアin大阪への出展 ・ 福井県独自の就職説明会の開催 ・ 民間の求人サービスを活用した福井県内臨床研修病院の求人情報の掲載、メールマガジンの配信、県外大学でのプロモーション ・ 県外の医学生が県内で開催する病院合同説明会に参加する際の交通費を助成 県外の研修医・医師が県内病院を見学する際の旅費を支給 ● 新 福井県医師キャリアパスガイドブック、DVDの作成 ● 新 ふくい若手医師リクルーターの設置 医師確保の施策として、「ふくい若手医師リクルーター」を設置し、福井県の初期臨床研修医確保に関してより魅力的な取り組みを実施する。 ● 新 臨床研修医と県内勤務医師との交流会等の実施 医師確保の施策として、初期臨床研修医と県内医療機関関係者がつながりを持つことができるよう交流会を実施する。 年2回開催（4月、9月） 病院勤務だけでなく、地域で活躍する開業医との繋がりを作ることで、医師間での直接的な交流関係を形成し、県内の医療機関への定着を図る 												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	6,702	10,533	11,625	6,663	9,845	9,845	9,845	平成26年度「医師・研修医、看護師確保PR事業」、「研修医・医師のUターン・Iターン支援事業」を統合 平成28年度地域医療再生基金終了に伴う事業費の精査				
2月現計予算額の推移	6,702	10,533	11,625	6,663								
決算額の推移	6,685	10,498	11,099									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	初期臨床研修マッチング者数	(目標) 64 実績 64	(目標) 65 実績 49	(目標) 65 実績 55	(目標) 65 実績 51	(目標) 65	(目標) 65	県内外で開催される医学生対象の臨床研修病院の合同説明会への出展回数				
活動指標	合同説明会でのPR回数	(目標) 7 実績 7	(目標) 7 実績 7	(目標) 7 実績 7	(目標) 6 実績 6							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県					
予算額	9,845			(繰入) 9,845	0	事業実施方法	委託、直営					
						補助率						

事業評価

事業名	初期臨床研修医確保のための情報発信・UIターン支援事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成16年度より開始された、医師臨床研修制度により医学部卒業後、臨床研修指定病院において2年間の臨床研修を行うことが義務付けられた。これに伴い、医学生は医学部卒業後全国の臨床研修指定病院を自由に選択することが可能となり、都市部の大規模病院への医師の流出により地域間の格差が生まれることとなった。福井県においても医師不足は深刻な問題であり、平成26年度に福井県が実施した医師不足状況調査では欠員の医師不足数は61.7人となっている。このような医師の不足を解消し、県民に適切な地域医療を提供するため、県内外で医学生に対し福井県内の臨床研修病院をPRすることで初期臨床研修医の確保を図る。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
医学部医学科の学生				200名程度（合同説明会等に参加する医学生の数）			
他県の状況	石川県 合同説明会への出展 都道府県パンフレットの作成 メールマガジンの送信 富山県 合同説明会の開催・出展 都道府県パンフレットの作成 医学生の病院見学等に関する旅費の補助 全国状況は別紙参照	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度 合同説明会開催・参加数 5回（残り2回は2月、3月4日）		ふくい若手医師リクルーターの設置 臨床研修医と県内勤務医師との交流会等の実施		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井県専門医養成（後期研修医）キャリアアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [県民の健康サポート・システム] 政策 [地域医療の人材確保体制強化]			事業 区分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度 H22 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[第6次 福井県医療計画]								
[事業目的]											
救急医・家庭医・産婦人科医・小児科医を目指す後期研修医を対象とする研修プログラムを設け、各分野の専門医の確保・養成を図る。											
[事業内容]											
<p>毎年度、救急医等を目指す後期研修医を全国から募集。研修医は、県立病院や公的診療所で2年間研修した後、県内医師不足の公的病院・診療所において1年間派遣勤務する。</p> <p>①後期研修医人件費 3名分（3年目1名、2年目2名） 24,027千円（諸収入2,652千円、一般21,375千円） 後期研修医の人件費を支給する。（研修期間2年間は県が負担。派遣期間1年間は、派遣先の公的病院・診療所から支給。）</p> <p>②国内外研修への補助 1名分 2,000千円 後期研修医が、国内外の先進病院で研修する研修費用を補助する。当該補助を活用する後期研修医は、公的病院・診療所への派遣が2年間となる。</p> <p>③学会、セミナー等参加経費補助 3名分 540千円 後期研修医が、学会や医療手技を学ぶセミナー等に参加する費用（参加費、旅費）を補助する。</p>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		106,812	162,336	212,988	96,376	26,567	0		平成30年度は公立医療機関への派遣のみ		
2月現計予算額の推移		90,596	117,583	150,617	81,333						
決算額の推移		81,578	116,396	121,238							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	県内医療機関への派遣医師数 (目標)	(7)	(4)	(5)	(6)	(6)	(3)	(0)	国内外研修補助を活用した後期研修医は、派遣期間が2年間となる。		
	実績	7	6	6	7						
活動指標	後期研修医採用者数 (目標)	(5)	(10)	(11)	(3)	(0)	(0)	(0)	平成28年度をもって採用活動は終了予定。		
	実績	5	6	6	2						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		福井県			
予算額	26,567			(繰入、諸) 26,567		事業実施方法		県執行、補助金			
						補助率		10/10			

事業評価

事業名	福井県専門医養成（後期研修医）キャリアアップ事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>新たな臨床研修制度が平成16年度から導入され、大学からの派遣による市中病院への医師の供給が2年間途絶えた影響により、全国的に医師不足が大きな問題となっている。本県においても医師不足は大きな課題であり、19年度から医師確保総合対策事業を展開している。</p> <p>この取組みの一つとして、本事業においては、救急医・家庭医・産婦人科医・小児科医を目指す後期研修医を対象とする研修プログラムを設け、各分野の専門医の確保・養成することにより、県内の医師不足の公的病院・診療所に派遣する医師を確保する。</p> <p>本事業により派遣される後期研修医は、臨床経験を有しており、また、家庭医・救急医コース生は整形外科での研修を必須とし患者を診療科に関係なく診療する技能を備えていることから、派遣先医療機関においては即戦力として期待される。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
後期研修医、派遣先医療機関							
他県の状況	<p>後期研修医の採用は病院が行っており、県が直接採用（給与を負担）しているのは本県だけである。</p> <p>学会等への参加については、兵庫県では、県が支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県 …研修1年+勤務2年、学会等参加旅費支給 ・石川県 …研修2年+勤務2年、学会等参加経費支給（年2回） ・兵庫県 …研修2年+勤務2年、学会等参加経費支給（上限50万円） 	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名 （実績欄のとおり） （実績） ①地域医療支援ドクター確保事業（県立病院採用） 研修医採用実績 H20年度：1名 ②総合養成後期研修事業（県医務薬務課採用） 研修医採用実績 H17～19年度：各2名、H21年度：1名 ③国内外研修支援事業 活用実績 H20～21年度：1名			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域医療支援ドクター確保事業 （役割分担） 県立病院救命救急センターの正規医師を2名増員することにより、救命救急センターの体制を強化。県内の医師不足により十分な医療体制が組めない自治体病院等に派遣する後期研修医（キャリアアップコース）等を指導する体制を整備するとともに、災害時の対応など県民の安全・安心な医療を提供していく。	市町との連携状況	家庭医コースは半年間の公立診療所での研修を必須としている。 3年目の派遣勤務については、派遣先の公的病院・診療所が給与費等を負担している。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
27年度に育児休業を取得した研修医1名が派遣勤務を行ったため、成果指標は目標を上回った。 採用者数は、活動指標を達成できなかったものの、例年並みを維持した。		予定どおり平成29年度の採用は行わず、平成30年度で事業終了予定		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

新専門医制度対策事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H29 年度	事業終了予定年度	H37 年度
			政策 [地域医療の人材確保・体制強化]				□ 県単	■ 補助金				
関連する県の計画等			[第6次 福井県医療計画]				□ その他	□ その他				
[事業目的]												
県内の研修医を確保するため、研修医の研修への支援、臨床研修医と勤務医の情報交換会・交流会を開催し、県内定着への気運を醸成する。また、新専門医制度に対応するため指導医の増員を図り、若手医師を確保する。												
[事業内容]												
(1) 後期研修医の確保支援 ①後期研修医を確保した基幹病院に対する研修経費等の支援 ②後期研修医を医師不足地域の医療機関に派遣した基幹施設に対し、指導に必要な経費を支援 (2) 後期研修医のレベルアップ支援 ①県内の後期研修医の研修費用等を支援 (3) 指導医資格の取得支援 ①新専門医制度の指導医資格を取得するための費用を支援												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						11,209	154,933	154,933	平成30年度以降は、医師不足地域の医療機関への派遣が開始されるため、指導経費の支援が増加			
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	事業による医師派遣数 (目標)						21人	21人	平成28年秋の公立医療機関からの派遣希望数79人			
	実績											
活動指標	(目標)											
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県医師会、県内医療機関				
予算額	11,209	139		(繰入) 10,930	140	事業実施方法		委託、補助				
						補助率		県10/10、1/2				

事業評価

事業名	新専門医制度対策事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>・毎年、県内医療機関から70人前後の医師派遣要望があるが、県からは30人前後の派遣に留まっている。 さらに、平成30年度から養成を開始する新専門医制度により、都道府県単位での地域偏在の拡大等が懸念されており、若手医師の確保に向けた対策が必要である。 このため、県内医学生や臨床研修医が地元に着住するための情報交換会を実施するとともに、県内医療機関が後期研修医を確保し、医師不足の医療機関に派遣するための支援を行う。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
他県の状況	・類似の事業なし。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 魅力ある医師の研修システム・医師派遣システム構築事業 (役割分担) 魅力ある医師の研修システム・医師派遣システム構築事業では初期臨床研修医や若手医師に大学教官が出張指導を実施しており、当事業では研修医同士の連携強化のための情報交換会や後期研修医の国内外研修経費等の支援を実施する等、研修環境を強化する。			市町との連携状況	なし。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

いきいき働く職場づくり支援事業（ソフト）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一																																									
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [県民の健康サポートシステム] 政策 [地域医療の人材確保体制強化]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H37 年度																																										
関連する県の計画等			[]																																																	
<p>[事業目的]</p> <p>医師・看護師等の医療人材の離職防止や医療安全の確保等を図るためには医療勤務環境の改善が不可欠であり、個々の医療機関が抱える課題に応じて、具体的な改善策を講じる必要がある。そこで、医療の職場づくり支援センターを設置し、各医療機関が行う勤務環境改善についての取り組みを支援し、医療勤務環境の改善を進めていく。</p>																																																				
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 医療の職場づくり支援センター運営協議会の開催 運営協議会委員：福井労働局、福井県医師会、福井県精神科病院協会、福井県看護協会、福井県社会保険労務士会、医業経営コンサルタント協会、福井県</p> <p>(2) 講習会事業 ①医療職の健康危機管理の実践について（1回） ②育児とキャリア形成の両立について（2回） ③ワークライフバランスを実現する働き方について（3回）</p> <p>(3) アドバイザー派遣事業 計画策定を検討する医療機関に赴き、計画策定方法を説明し策定を促すとともにアドバイスを行う</p> <p>(4) 勤務環境状況調査 県内医療機関の勤務環境についての調査</p> <p>(5) 意見交換会 Uターン、Iターン就業している医師や看護師等から、福井県における勤務環境改善策についての意見を聴取する</p>																																																				
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">722</td> <td style="text-align: center;">2,908</td> <td style="text-align: center;">3,110</td> <td style="text-align: center;">3,122</td> <td style="text-align: center;">3,299</td> <td style="text-align: center;">3,299</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">平成26年度は12月補正予算のため事業実施期間が短かったため</td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">722</td> <td style="text-align: center;">2,260</td> <td style="text-align: center;">2,360</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">500</td> <td style="text-align: center;">1,002</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由	当初予算額の推移	/	722	2,908	3,110	3,122	3,299	3,299	平成26年度は12月補正予算のため事業実施期間が短かったため	2月現計予算額の推移	/	722	2,260	2,360				決算額の推移	/	500	1,002											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由																																												
当初予算額の推移	/	722	2,908	3,110	3,122	3,299	3,299	平成26年度は12月補正予算のため事業実施期間が短かったため																																												
2月現計予算額の推移	/	722	2,260	2,360																																																
決算額の推移	/	500	1,002																																																	
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td>勤務環境改善計画策定医療機関数 (目標)</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td style="text-align: center;">(27)</td> <td style="text-align: center;">(52)</td> <td style="text-align: center;">(77)</td> <td style="text-align: center;">(103)</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">すべての医療機関に勤務環境改善計画策定の努力義務（医療法）</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td>講習会参加人数 (目標)</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">(50)</td> <td style="text-align: center;">(120)</td> <td style="text-align: center;">(240)</td> <td style="text-align: center;">(240)</td> <td style="text-align: center;">(240)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">54</td> <td style="text-align: center;">139</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	勤務環境改善計画策定医療機関数 (目標)	/	(2)	(27)	(52)	(77)	(103)	すべての医療機関に勤務環境改善計画策定の努力義務（医療法）	実績	/	2	11				活動指標	講習会参加人数 (目標)	/	(50)	(120)	(240)	(240)	(240)		実績	/	54	139			
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																												
成果指標	勤務環境改善計画策定医療機関数 (目標)	/	(2)	(27)	(52)	(77)	(103)	すべての医療機関に勤務環境改善計画策定の努力義務（医療法）																																												
	実績	/	2	11																																																
活動指標	講習会参加人数 (目標)	/	(50)	(120)	(240)	(240)	(240)																																													
	実績	/	54	139																																																
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">3,122</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(繰入) 3,122</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>事業主体</td> <td>県</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業実施方法</td> <td>県直営および委託（県医師会、県看護協会）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県	予算額	3,122			(繰入) 3,122	0	事業主体	県							事業実施方法	県直営および委託（県医師会、県看護協会）							補助率										
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県																																													
予算額	3,122			(繰入) 3,122	0	事業主体	県																																													
						事業実施方法	県直営および委託（県医師会、県看護協会）																																													
						補助率																																														

事業評価

事業名	いきいき働く職場づくり支援事業（ソフト）	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>・ 医師や看護師等の医療従事者の確保と有効活用の観点から、激務が指摘される医療機関の勤務環境を改善する支援体制を構築する等、医療従事者の定着・離職防止を図ることが必要である（25年8月6日「社会保障制度改革国民会議」報告書より）</p> <p>・ 医療機関の勤務環境改善に関する改正医療法の規定が昨年10月1日に施行されたことに伴い、医療機関の管理者は「医療従事者の勤務環境改善等の措置を講ずるよう努めなければならない」とされ、また都道府県は、医療従事者の勤務環境の改善に関する相談、情報の提供及び助言等の援助その他の医療従事者の勤務環境改善のために必要な支援に関する事務を実施する努力義務が課せられた。 これを受け、勤務環境改善に取り組む医療機関を支援するため、「福井県医療の職場づくり支援センター」を開設した。</p>							
[受益者] 県内医療機関の管理者				[想定される受益者数] 537（病院70、診療所467）			
他県の状況	医療勤務環境改善支援センターの設置状況（H28.10.1現在） 設置済 44都道府県 未設置 3県	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	無し				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
医療の職場づくり支援センター運営協議会開催（1回）		医療従事者に対する周知を強化するため、勤務環境改善計画策定方法についての管理者向けの講習会に代えて、医療従事者対象の実践的な講習会を実施する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
勤務環境改善計画策定方法について講習会（2回）参加者数35名 ワークライフバランスを実現する働き方について講習会 参加者数104名				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
アドバイザー派遣 5回（5医療機関）				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	
勤務環境状況調査（1回）							

いきいき働ける医療の職場づくり支援事業（ハード）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [県民の健康サポート・システム] 政策 [地域医療の人材確保・体制強化]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度	H37 年度
関連する県の計画等			[福井県地域医療構想]									
[事業目的]												
<p>医療法の改正により、医療勤務環境の改善支援は、都道府県の役割に位置づけられた。このため、医療の高度化に対応可能なナースステーションの整備、処置室およびカンファレンスルーム等の拡張など医療従事者が働きやすい合理的な病棟づくりなど勤務環境改善のための施設整備を行うことにより、看護職員など医療従事者の離職防止を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>事業内容</p> <p>対 象 : 病院、有床診療所（ただし、過去に当該事業において補助している医療機関は対象外）の休憩室や仮眠室、ナースステーション、処置室、カンファレンスルーム等の拡張や新設</p> <p>補助基準面積 : 1看護単位※につき50㎡ ※一般的には「病棟」と同じ意味</p> <p>補助単価 : 156,200円/㎡ ※ナースコールを更新付設する場合は、1㎡当たり117,400円を加算</p> <p>補助率 : 1/3</p> <p>実施機関 : 3医療機関</p> <p>補助内訳 : 尾崎病院（大野市）電動式ベッドの整備 2,484千円×1/3=828千円 たけとう病院（勝山市）検査データシステムと電子カルテシステムの連動 2,372千円×1/3=790千円 福仁会病院（福井市）ナースコールシステムの整備 29,350千円×1/3=9,783千円</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				14,347	5,631	11,401	11,401	11,401				
2月現計予算額の推移			7,926	7,185	5,631							
決算額の推移			7,391	7,157								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	勤務環境改善計画策定医療機関数 (目標)		(2)	(27)	(52)	(77)	(103)	(103)	すべての医療機関に勤務環境改善計画策定の努力義務（医療法）			
	実績		2	11								
活動指標	職場改善施設数 (目標)		(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)				
	実績		3	3	3							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		事業主体	病院、診療所			
予算額	11,401			(繰入) 11,401				事業実施方法	補助			
								補助率	県1/3 病院2/3			

事業評価

事業名	いきいき働ける医療の職場づくり支援事業（ハード）	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>近年、本県を含め全国的に医師や看護師不足が深刻化しており、その度合いは深刻化している。また、夜勤や人手不足に伴う過重労働などで、厳しい勤務環境に置かれている勤務医や看護師は少なくない状況であり、質の高い医療の提供や離職防止の観点からも医療の職場環境の改善が急務である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
病院、診療所				医療従事者			
他県の状況	富山県、長野県、静岡県、愛知県等で実施	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成26年度支援医療機関…3施設 平成27年度支援医療機関…3施設 平成28年度支援医療機関（予定）…3施設		安全な医療の提供や医療従事者の確保には勤務環境の改善を図ることが必要であり、引き続き事業を実施する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

医師の負担軽減促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [県民の健康サポート・システム] 政策 [地域医療の人材確保・体制強化]			事業 区 分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度 H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H37 年度
関連する県の計画等			[福井県地域医療構想]								
[事業目的]											
<p>医師が診療業務に専念できる環境を促進するため、医師事務作業補助者の恒常的な設置や産科医を補助する助産師設置を促進することにより、安全で質の高い医療提供体制を確保する。</p> <p>※医師事務事業補助者とは、医師が行う業務のうち、事務的な業務（医療文書の作成、診療記録への代行入力等）をサポートする職種。免許や経験などを特に要しない。</p>											
[事業内容]											
<p>①医師事務作業補助者…医療機関が新たに設置する医師事務補助者の設置に要する経費を補助 業務内容 診断書の作成補助、診療記録代行入力、診療に関するデータ整理、臨床研修、カンファレンスのための準備作業、救急医療情報システム等への入力等 補助対象 医療機関（診療報酬対象機関は除く）、 基準額 1人あたり年額2,000千円（月額166千円） 対象経費 新たに配置した補助者の人件費、委託費（派遣の場合） ※1：新たに配置した補助者の2年間のみ対象 補助率 1/2</p> <p>②助産師…分娩取扱い医療機関が、当該病院診療所に勤務する看護師を助産師養成施設に派遣するのに必要な経費について補助 補助対象 分娩取扱い医療機関 5機関（5名）/年 補助額 上限800,000円/1機関 対象経費 授業料、入学料</p>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					24,000	24,000	24,000	24,000	29年度は、28年度2年目と29年度1年目の経費		
2月現計予算額の推移					14,000						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	新たに配置した補助者数、助産師数	(目標)			(24)	(24)	(24)	(24)	医師事務作業補助者…年間20人の新たな配置を目標とする。 助産師…年間5人の新たな配置を目標とする。		
		実績			14						
活動指標	補助者を新たに配置した病院数	(目標)			(5)	(5)	(10)	(10)			
		実績			6						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		①医療機関、②分娩取扱い医療機関			
予算額	24,000			(繰入) 24,000		事業実施方法		補助			
						補助率		①県1/2病院1/2, ②定額			

事業評価

事業名	医師の負担軽減促進事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県も医師数が少ない状況であり、その中で質の高い診療を確保するためには、医師が診療業務に専念できる環境づくりが必要である。そのため、医師が外来診察、病棟回診、手術および患者指導などの対患者業務に要する時間を確保できるよう、それ以外の間接的業務(事務的業務)を代替することで診療そのものを効率化する取組みが有効である。しかし、医療事務補助は診療報酬において加算されているが(特定機能病院を除く)、常勤で配置すると収支が合わず配置が進んでいないのが現状であり、配置を促す支援が必要である。</p> <p>また、近年、出産等におけるリスクの高い妊婦等への対応で医師が多忙になっていることから、妊娠中から産後のケアまでをサポートする周産期医療の担い手である助産師を配置することで質の高い医療を確保することが有効である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
二次救急医療機関、分娩取扱医療機関、県民、妊娠中の家庭							
他県の状況	<p>○医師事務補助者 北海道をはじめ、全国で13都道府県で実施。 富山県、石川県は未実施。</p> <p>○助産師 【広島県】代替職員の人件費、授業料に補助 【香川県】代替職員の人件費に補助 【栃木県】代替職員の人件費に補助</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度補助予定 助産師配置支援 5名 医師事務作業補助者 10名				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

自動体外式除細動器（AED）普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
心室細動等に起因する突然死を減少させるため、AED普及啓発推進協議会を設置し、県民が積極的かつ安全にAEDを使用できるよう、AEDの取り扱いについての講習会等普及を行う。												
[事業内容]												
下記の事業を一般社団法人 福井県医師会に委託して実施												
①指導者養成救命救急処置講習会（33名／回、年2回開催）（嶺北1回 嶺南1回） 国体では若い年代の参加が見込まれるため、各学校におけるAEDの普及啓発と初期救急医療の底上げを図ることを目的に、養護教諭や保健体育教諭を対象にしたAEDの取り扱いや初期救急医療に関する指導者養成救命救急処置講習会を開催												
②県民対象救命救急処置講習会（65名／回、年38回開催） 国体開催期間中、人混みの中でAEDを適切に使用し、円滑に救命処置を行うことができるよう、県職員や運営ボランティア等を対象とした県民対象救命救急処置講習会を開催 ○対象者 県職員、運営ボランティアスタッフ（平成29年）												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	9,028	1,763	4,692	2,978	/	対象人数が増加したため			
2月現計予算額の推移		/	/	9,028	1,763	/	/	/				
決算額の推移		/	/	8,640	/	/	/	/				
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	各講習会参加者数	(目標)	/	(450)	(700)	(2,496)	(1,455)	/	しあわせ元気国体・大会の式典等にスタッフとして参加する人数			
		実績	/	432	/	/	/	/				
活動指標	講習会開催数	(目標)	/	(13)	(20)	(40)	(37)	/				
		実績	/	14	/	/	/	/				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	4,692	1,036	/	/	3,656	事業実施方法	委託					
						補助率						

事業評価

事業名	自動体外式除細動器 (AED) 普及事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成30年度の「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」(以下、「国体」)では、選手・監督をはじめ、大会関係者、一般観覧者など全国各地から多くの方が来県する。 大会参加者や一般観覧者等の心室細動等に起因する突然死を減少させるため、AED普及啓発推進協議会を設置し、県民が積極的かつ安全にAEDを使用できるよう、AEDの取り扱いについての講習会等普及を行う必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	石川県 普及活動は行っていない。 富山県 普及活動を行っている。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度実施状況 指導者養成救命救急処置講習会(2回) 嶺北 47人、嶺南 17人 計 63人 県民対象救命処置講習会(18回) ・県職員対象(11回) 181人(8/11回) ・県民対象(7回) 38人(2/7回)		AED講習会について、国体のボランティア説明会に合わせて実施することとした。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

救急搬送強化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [先進的な医療と福祉]			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H37 年度
関連する県の計画等			[福井県地域医療構想]									
[事業目的]												
救急車から病院へ心電図データを伝送し、心筋梗塞患者の発症から治療開始までの時間短縮を図るため新規導入の際の費用に対して補助を行うとともに、病院に転院搬送用の救急車を整備し、急性期と回復期を担う医療機関相互の連携強化を図る。												
[事業内容]												
(1) 心電図電送システムの導入 (2,800千円)												
①補助先 医療機関、消防(市町)												
②補助内容 医療機関、消防が心電図伝送システムを新規導入する際にかかる費用に対して補助を行う												
③基準額 医療機関 300千円 消防 500千円												
④補助率 2/3												
(2) 転院搬送用の病院救急車の整備 (4,666千円)												
①補助対象者 地域の中核病院(平成29年度 1か所)												
②補助内容 患者の搬送用のための救急車の購入および改造費、必要な資機材の整備												
③基準額 7,000千円												
④補助率 2/3												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	/	/	15,444	16,101	7,466	7,466	7,466					
2月現計予算額の推移	/	/	15,444	16,101								
決算額の推移	/	/	15,444									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	実証件数	(目標)	/	/	(2)	(6)	/	統一的な運用手順の確立				
			/	/	1	9	/					
活動指標	救急車	(目標)	/	/	(2)	(3)	(1)	二カ所の医療機関に補助を行う				
			/	/	3	3	1		1	1		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	地域の中核病院					
予算額	7,466			(繰入) 7,466		事業主体	地域の中核病院					
						事業実施方法	補助					
						補助率	県2/3 中核病院1/3					

事業評価

事業名	救急搬送強化支援事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>救急車から病院へ心電図データを伝送し、心筋梗塞患者の発症から治療開始までの時間短縮を図るため新規導入の際の費用に対して補助を行うとともに、病院に転院搬送用の救急車を整備し、急性期と回復期を担う医療機関相互の連携強化を図る。 救急車と医療機関との間で心電図データを共有することによって、複数病院への転送（再搬送）を抑制するとともに事前の治療準備により病院到着後から治療開始までの時間を短縮</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
地域の中核病院								
他県の状況	救急搬送車両事業補助金 秋田県 実施あり 山梨県 実施あり 兵庫県 実施あり			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
28年度補助予定…3医療機関		導入効果の実証を終え、現在導入されていない医療機関、消防に対し導入の際の補助を行う。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

災害派遣医療チーム（DMAT）体制整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H24 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [さまざまな災害・危機を想定した医療体制の強化]				■ 県単	■ 補助金			
[事業目的]											
<p>大規模災害発生に備え、平成23年度から整備してきたSCU、庁内衛星電話、災害拠点病院等に配備した行政防災無線の保守管理を行う。 また、災害医療に関する各種研修の実施や参加を支援し、災害医療に精通した人材を育成する。</p>											
[事業内容]											
<p>○航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）に整備した備品の保守・管理を行う。 ○非常時の通信手段として平成23年度に県に整備された衛星電話（地域医療課内 1台）の保守・管理を行う。 平成24年度から通信手段の複数化のため、災害拠点病院、DMAT、郡市医師会に整備した携帯型防災無線装置の保守管理を行う。 ○災害医療の基礎的知識と技術を習得するため災害時医療研修（JPTEC、BDLS）に対して補助を行う。 ○厚生労働省において開催される災害医療コーディネーター研修に参加するための旅費を支援する。 ○DMATインストラクターを養成するために、インストラクター受験資格取得のため、DMAT隊員養成研修の講師としての実習研修に参加するための旅費を支援する。 ○DMATロジスティックチーム隊員養成研修に参加するための旅費を支援する。 ○多機関との連携体制を構築するために、医療本部研修および現場活動研修を実施する。</p>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移	64,050	3,668	3,901	2,877	11,482	11,482		28年度は、インストラクター養成のための支援、ロジチーム隊員養成研修への派遣、医療本部研修、現場活動研修を実施（2月補正） 29年度は、DMAT新規分の環境整備、国総合防災訓練への参加支援を追加			
2月現計予算額の推移	64,050	3,668	3,901	6,375							
決算額の推移	60,194	2,630	3,065								
[成果指標等の推移]											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	DMATチーム数	(目標) 実績	20	20	21	22		平成28年度は敦賀医療センターにおいてDMATを新規養成			
活動指標		(目標) 実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		地域医療課			
予算額	11,482	1,800			9,682	事業実施方法		実行、補助			
						補助率		県10/10			

事業評価

事業名	災害派遣医療チーム（DMAT）体制整備事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>予測できない自然災害に対して、DMAT隊員が迅速かつ適切に対応するため、医療資機材の保守管理を行い、常に出動態勢を確保することが重要である。また、災害時医療では多くのマンパワーが必要となるため、災害時の救急医療に精通した人材の育成と底上げを図り、医療提供体制を強化する。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
DMAT				135人				
他県の状況	全国的に実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 災害派遣医療チーム（DMAT）派遣体制整備事業 (役割分担) DMATが災害現場へ出動する際の損害保険			市町との連携状況	なし			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
機器保守点検等、適切な管理を実施		熊本地震をふまえて、人材育成および研修を実施 DMAT新規養成にあわせて通信手段を整備 国総合防災訓練への参加を支援（国庫補助）			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

緊急時安全対策事業（安定ヨウ素剤の配布体制の整備）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	「安全最優先」の原子力行政			事業 区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	原子力防災対策の充実・強化				□ 県単	□ 補助金				
							□ その他	□ その他				

[事業目的]

「福井県地域防災計画原子力災害対策編」および国の解説書「安定ヨウ素剤の配布・服用に当たって」に基づき、原子力施設から5km圏内の住民へ安定ヨウ素剤を事前配布するとともに、30km圏内の住民を対象に緊急時の配布体制を整備する。

[事業内容]

(1) 事前配布

- ・継続して配布説明会を開催
- ・意向調査により住民のニーズに沿った説明会開催方法を実施

対象者 5km圏内の住民（3歳未満および服用不適者を除く） 5市町 約1万人

配布方法 説明会を開催し、医師等が住民に副作用等を説明して配布

所要経費 医師等の報償費・旅費、医療機関での説明会における医師・薬剤師の問診業務委託費用 他

(2) 緊急時の配布体制の整備

対象者 30km圏内の住民 12市町 約34万人

備蓄数量 国の交付金で示す整備量のめやす（対象者の1回分×3）を購入し備蓄

- ・各備蓄場所にシンチレーションサーベイメータおよびポケット線量計を配備

（単位：千円）

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由
当初予算額の推移	/	33,183	50,661	59,284	47,160	47,160		
2月現計予算額の推移	/	64,761	45,776	59,284				
決算額の推移	/	46,577	44,216					

[成果指標等の推移]

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	安定ヨウ素剤配布率	(目標)						安定ヨウ素剤の事前配布については、転入・転出、年齢到達者を含め、配布可能な住民への確実な配布に努める。
		実績	70.4%	80.9	79.9			
活動指標	安定ヨウ素剤配布数	(目標)						
		実績	7,157	8,129	8,013			

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県
予算額	47,160	47,160				事業実施方法	直営
						補助率	

事業評価

事業名	緊急時安全対策事業（安定ヨウ素剤の配布体制の整備）	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
(1) 事前配布 ・平成26年10月高浜町から県内PAZ市町で事前配布を開始し、26年度中にPAZ圏全5市町で事前配布を実施 ・27、28年度においても転入者、年齢到達者、未問診者等に対し配布説明会を実施 [課題] 未問診者に対する事前配布の促進 毎年度発生する転入者、年齢到達者に対し配布が必要 (2) 緊急時の配布体制の整備 ・UPZ12市町に緊急時配布用の安定ヨウ素剤を配備 ・緊急時の配布場所について、9市町において決定済み（高浜町、おおい町、若狭町、美浜町、南越前町、越前町、越前市、鯖江市、福井市） ・残り3市町の配布場所は調整中（敦賀市、小浜市、池田町）							
[受益者]				[想定される受益者数]			
原子力災害時避難住民				34万人			
他県の状況	立地および隣接の9道府県が事前配布を実施 （鹿児島県、愛媛県、佐賀県、長崎県、京都府、島根県、北海道、新潟県、茨城県）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年10月19日現在 配布数…5市町で8,013人		安定ヨウ素剤の事前配布は、転入・転出、年齢到達、死亡等がある中、毎年度継続的に実施していくことが必要であるため引き続き実施する。 また、発電所から30km圏内の入所者がいる病院、福祉施設へも安定ヨウ素剤の配備を進める。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

緊急時安全対策事業（被ばく医療用放射線測定機器等の整備）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	「安全最優先」の原子力行政			事業 区 分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 H30 年度
関連する県の計画等		政策	原子力防災対策の充実・強化				□ 県単	■ 補助金			
<p>[事業目的]</p> <p>「福井県地域防災計画原子力災害対策編」に基づき、発電所から30km圏内の住民避難時のスクリーニングに用いる放射線測定機器を配備する。また、地域の拠点として救急医療や被ばく医療を行う「原子力災害拠点病院」に必要な設備の整備を行う。</p> <p>[事業内容]</p> <p>○スクリーニング・除染場所で使用する資機材の配備（※既存の各健康福祉センター配備の資機材も活用）（H25～） 平成29年度配備数 GMサベイメータ 42台</p> <p>○原子力災害拠点病院に必要な設備の整備（H29～） 平成29年度配備数 陰陽圧テント、トリアージ用テント、除染排水用浄水装置、救急外来改修等（福井大学病院、赤十字病院） 被ばく患者等対応用消耗品（防護服、養生シート等） 2式（ " " ） 固定式衛星回線インターネット機器 3式（県立病院、福井大学病院、赤十字病院） 可搬型 " 3式（県立病院、福井大学病院、赤十字病院）</p>											
（単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		0	44,799	30,327	13,220	102,937	102,937				
2月現計予算額の推移		105,672	44,799	30,327	13,220						
決算額の推移		104,298	39,927	25,762							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	スクリーニング場所31か所分の測定器等の整備		(28)	(28)	(31)	(31)			平時から資機材の整備を進め、緊急時の体制の充実を図る。		
			4	21	31						
活動指標	放射線測定機器整備数			(84)	(102)						
	(シンチレーション、ポケット線量器)			84							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、医療機関			
予算額	102,937	102,937				事業実施方法		直営、補助			
						補助率		県10/10			

事業評価

事業名	緊急時安全対策事業（被ばく医療用放射線測定機器等の整備）	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>○原子力防災重点区域が30kmに拡大されたことに伴い、避難経路上でのスクリーニング・除染を行うことが必要となり、スクリーニング・除染を実施するための資機材を整備する必要がある。</p> <p>○平成28年3月に福井県地域防災計画原子力災害対策編を修正し、原子力災害拠点病院3病院（県立病院、福井大学病院、赤十字病院）を位置付けたことに伴い必要な資機材を整備する必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
原子力災害時避難住民				34万人			
他県の状況	北陸他県においても放射線測定機器等の整備を行っている			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度 シンチレーション17台、ポケット線量器85台を整備予定		原子力災害拠点病院について、被ばく患者の受入れ・除染措置等に必要な資機材を整備		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

看護師等修学資金貸与事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一															
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [県民の健康サポートシステム]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 S37 年度 経過年数 56 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度															
関連する県の計画等		政策	[地域医療の人材確保体制強化]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				<input checked="" type="checkbox"/> その他														
[事業目的]																										
<p>質の高い医療サービスを提供していくためには、資質の高い看護職員を十分確保していくことが不可欠である。また、新規労働力となる若年人口が減少する中で、高齢人口の増加により看護職員の需要は一層増加していくと考えられる。そこで、看護職員の県内定着をはかるため、修学資金の貸与を行うことで学生の修学を容易にし、県内への就労を促進する。</p>																										
[事業内容]																										
看護学生に対し修学資金の貸与を行うことで学生の修学を容易にし、県内への就労を促進する。																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="width: 10%;">貸与月額</th> <th style="width: 80%;">返還期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">県内養成施設</td> <td style="text-align: center;">国公立</td> <td style="text-align: center;">2万円</td> <td>・県内就業者 1年間の返還猶予および貸与期間の2倍を超えない期間で返還</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">民間立</td> <td style="text-align: center;">4万円</td> <td>・県外就業者 貸与期間と同じ期間で返還</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">県外養成施設</td> <td style="text-align: center;">6万円</td> <td>・県内就業者 1年間の返還猶予および貸与期間の3倍を超えない期間で返還 ・県外就業者 貸与期間と同じ期間で返還</td> </tr> </tbody> </table>														貸与月額	返還期間	県内養成施設	国公立	2万円	・県内就業者 1年間の返還猶予および貸与期間の2倍を超えない期間で返還	民間立	4万円	・県外就業者 貸与期間と同じ期間で返還	県外養成施設		6万円	・県内就業者 1年間の返還猶予および貸与期間の3倍を超えない期間で返還 ・県外就業者 貸与期間と同じ期間で返還
		貸与月額	返還期間																							
県内養成施設	国公立	2万円	・県内就業者 1年間の返還猶予および貸与期間の2倍を超えない期間で返還																							
	民間立	4万円	・県外就業者 貸与期間と同じ期間で返還																							
県外養成施設		6万円	・県内就業者 1年間の返還猶予および貸与期間の3倍を超えない期間で返還 ・県外就業者 貸与期間と同じ期間で返還																							
[予算額の推移等] (単位：千円)																										
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由																	
当初予算額の推移		15,120	19,920	15,120	11,520	9,120	9,120		貸与申請者の増減																	
2月現計予算額の推移		15,120	11,520	8,880	3,000																					
決算額の推移		15,040	11,120	8,880																						
[成果指標等の推移]																										
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠																	
成果指標	貸与した卒業生のうち県内就業した者の割合 (目標)	(95%)	(95%)	(95%)	(95%)	(95%)	(95%)		県内就業を促進するため																	
	実績	92%	100%	92%																						
活動指標	新規貸与者数 (目標)	(16)	(19)	(15)	(12)	(12)	(12)		支援が必要な看護学生に対し貸与する																	
	実績	16	3	4	1																					
[財源内訳・事業主体等]																										
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県																		
予算額	9,120			(諸収入) 9,120	0	事業実施方法		県直営 (申請者に貸与)																		
						補助率																				

事業評価

事業名	看護師等修学資金貸与事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
-----	--------------	-----	-------	----	-------	-----	-------

[事業の必要性・要求の背景]

看護職員需給見通しから、看護職員の確保が引き続き必要であり、看護師養成施設卒業生の県内就業を促進する必要がある。
 (平成21年度に実施した福井県看護職員需給見通しでは、平成27年には67人不足する見通し)

	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	実人員	常勤換算								
需要数	11,490	10,741	11,735	10,965	11,948	11,154	12,146	11,343	12,357	11,527
供給数	11,260	10,468	11,538	10,708	11,808	10,942	12,058	11,159	12,290	11,361
過不足数	△ 230	△ 273	△ 197	△ 258	△ 140	△ 212	△ 88	△ 184	△ 67	△ 166

[受益者]

貸与を受ける看護学生、県内医療機関

[想定される受益者数]

看護学生貸与枠(12名)、県内医療機関

他県の状況	看護師等修学資金貸与事業を 実施している都道府県 42都道府県 実施していない都道府県 4県(山形県、岐阜県、愛媛県、佐賀県) その他(県立病院対象) 1県(兵庫県)	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	無し

[事業の評価]

前年度の実績	実績を踏まえた29年度の変更点	事業評価			
新規貸与者 民間立2名 県外2名 継続貸与者 民間立14名	制度の周知の強化	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

看護師等就業推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	S50 年度 経過年数 43 年	事業終了 予定年度	H37 年度
関連する県の計画等			政策 [地域医療の人材確保体制強化]				□ 県単	□ 補助金				
[事業目的]												
<p>超高齢化の進展に伴い、保健・医療・福祉分野でのニーズの増大等による看護師不足に対応するため、県内での就業促進に必要な事業を行う。</p>												
[事業内容]												
<p>委託先：福井県看護協会 内容： (1) ナースセンター運営事業：ナースセンター事業の実施内容の評価・検討、PR、就業状況調査、コンピューターシステムの設置、嶺南サテライトの設置、人件費 (2) ナースセンター就業支援事業：離職時の届出制度の実施、就労斡旋、再就業支援、ハローワークとの連携、就職相談会の開催 (3) 「看護の心」普及事業：一日看護体験の実施（高校生対象）、看護職のPR (4) 看護学生インターンシップ事業：県内外看護学生のインターンシップ支援</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		22,912	21,311	23,112	15,397	15,465	15,465	15,465	ハローワーク連携事業			
2月現計予算額の推移		19,653	20,661	23,975	15,397							
決算額の推移		18,803	19,607	22,910								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	看護職員従事者数	(目標)	(11,948人)	(12,146人)	(12,357人)	(12,357人)	(12,357人)	(12,357人)	目標：看護職員需給見通しによる需要数 実績：看護職員従事者届出による実数（隔年調査）			
		実績	-	11,775人	-			-				
活動指標	再就業者数	(目標)	(420人)	(430人)	(460人)	(460人)	(465人)	(470人)	ナースセンターでの就労斡旋による再就業者数			
		実績	423人	457人	410人							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		福井県看護協会（一部県執行）				
予算額	15,455			(繰入) 15,455		事業実施方法		委託（一部県執行）				
						補助率						

事業評価

事業名	看護師等就業推進事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川祐一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>偏在等を背景とした看護職員不足があり、社会保障・税一体改革による看護職員の必要数は、2025年までに全国で50万人といわれている。少子化が進む中、抜本的な看護職員確保対策が不可欠である。看護職の就業支援については都道府県が各ナースセンターに委託してすすめている。対応策として看護職員の復職支援を強化することが重要とされており、看護師等免許保持者の届出制度（H27年10月1日施行）やハローワークとの連携強化、就職斡旋と復職研修の一体的実施など「ニーズに合ったきめ細やかな対応」が求められており、今後ナースセンター機能を強化して取り組んでいく必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
看護職者、潜在看護師、看護学生、県内中高校生							
他県の状況	<p>【石川県】 ナースセンター再就業支援事業（ナースセンター機能の強化、ハローワークとの連携）、未就業者看護職員再就業支援研修、看護の魅力啓発強化・県内就業促進（中高生に対する普及啓発、就職ガイダンス、病院見学会の情報提供）、看護師等免許保持者届出事業等</p> <p>【富山県】 看護師等就労促進事業（ナースセンター事業：就業相談、再就業支援研修、ハローワークとの連携）、看護師等就業支援サテライト事業、看護師等免許保持者届出事業、看護師等養成機関PR事業、Uターン促進事業、看護職員応援サイトの開設 等</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	なし				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・ H26年度よりハローワークとの連携し、双方の強みを活かした就業支援方法の検討を始めた。支援の一つとしてハローワークでの出張相談会を開催し、就業相談とナースセンターのPRを行い再就業者数の増加に繋げている。 ・ 県内就業促進のためにインターンシップ事業を行っているが、参加希望者が多く、県外学生の参加も年々増加している。		・ 嶺南地域の看護職のナースセンター利用促進、就業支援の強化のためにH28よりナースセンターのサテライトを設置している。今後も継続し利用者の利便性を図り、嶺南地域でのナースセンターの周知、看護職の就業支援を充実させていきたい。 ・ インターンシップ事業に関し、年々参加者が増加し、県外学生の参加も増加しているため、事業を継続していく。		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額

看護職員資質向上推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一
福井ふるさと元気宣言における位置付け	■ 政推枠 ビジョン [元気な社会]		政策 [地域医療の人材確保体制強化]			事業区分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H8 年度 経過年数 22 年	事業終了予定年度	H37 年度
関連する県の計画等	[第6次 福井県医療計画]										
[事業目的]											
医療の高度化・専門分化やヘルスケアニーズの多様化に対応した看護サービスを提供するため、実践的看護能力を備えた看護職者の育成を行う。											
[事業内容]											
内 容： (1) 研修内容の協議 ①看護職員研修推進協議会：県内看護職のためのより質の高い研修プログラムの検討 (2) キャリア段階に応じた支援 ①新人看護教育充実事業：県内医療機関に採用された新人看護職員や新人看護教育に携わる看護師に対する研修の開催 ②看護師等実習指導者育成事業：看護学生に指導を行う実習指導者の育成を目的とした研修の開催 ③看護管理能力育成研修事業：看護管理者を対象に管理・教育体制等に関する研修の開催 (3) 全キャリア段階に応じたスキルアップ支援 ①看護専門分野スキルアップ事業：各医療機関のニーズにあった専門的内容の出前研修や技術的指導（認定看護師の派遣） ②在宅看護人材キャリアアップ事業：地域医療連携に従事する看護師や訪問看護師の確保と実践力向上を図るための支援 ③福井県災害対応看護職員確保事業：災害医療に関する研修の開催（若手看護職員向け、中堅以上看護職員向け）、災害対応ハンドブック作成											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		22,193	25,916	29,404	21,014	22,148	22,148	22,148	拡充される事業があるため		
2月現計予算額の推移		22,193	29,389	28,692	20,160						
決算額の推移		13,415	22,453	28,692							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	看護職員従事者数	(目標) (11,735人)	(11,948人)	(12,146人)	(12,357人)	(12,357人)	(12,357人)	(12,357人)	目標：看護職員需給見通しによる需要数 実績：看護職員従事者届出による実数（隔年調査）		
		実績 11,525人	—	11,775人	—	—	—	—			
活動指標	研修等受講者数	(目標) (340人)	(1100人)	(1120人)	(3700人)	(3700人)	(3700人)	(3700人)	看護専門分野スキルアップ事業の受講者が大幅に増加したため、研修受講者が増加した。		
		実績 491人	1,100人	3,674人							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		委託先、病院（新人看護職員研修実施）			
予算額	21,375			(繰入) 21,375		事業実施方法		委託、補助			
						補助率		病院 1 / 2			

事業評価

事業名	看護職員資質向上推進事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>医療の高度化・専門分化やヘルスケアニーズの多様化により、看護職には常に最新の知識・技術の修得が求められている。教育研修体制を強化することで、看護職が適切で安全な知識を持ち、安心して看護を提供することができるため、離職防止・定着促進のためにも研修の充実は必要である。新人看護師・新人を指導する看護師・中堅看護師・管理職等キャリア段階に応じた研修と専門分野別の研修を行うことで、看護職全体の質の向上を図り、患者に対しても安全な医療・看護を提供することができる。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
看護職者（保健師・助産師・看護師・准看護師）								
他県の状況	(石川県) 看護師資質向上研修（看護協会、県立看護大学における各種研修、がん・認知症などに対する資質向上研修、認定看護師を活用した専門的看護実践力研修）、新人看護職員研修（新人・指導者）、看護教員資質向上研修等 (富山県) 看護職員資質向上実務研修、看護教員継続研修、がん専門分野における質の高い看護師育成、看護職員研修補助、新人看護職員研修、新人看護職員指導者研修、看護管理者連絡会議、認定看護師育成研修支援、訪問看護推進事業等	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名 新人看護職員研修事業・訪問看護推進事業 (実績) ○新人看護職員研修事業：新人看護職員研修ガイドラインに沿った研修を実施している病院への補助、看護協会への委託による集合研修の開催 ○訪問看護推進事業：訪問看護ステーション管理者研修、退院支援研修、訪問看護師養成講習会、訪問看護スキルアップ事業、訪問看護アドバイザー派遣事業 ⇒研修関係事業のため、H28年度より看護職員資質向上推進事業に統合。				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況	事業名 (役割分担) なし					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
中小病院等の看護師は外部での研修に参加しにくい状況にあるため、H26年度より認定看護師を活用した出前研修の事業を開始した。各医療機関のニーズに合った研修を開催できるため、希望する医療機関が多く、研修受講者数が増加している。 在宅分野の看護職員の確保、質の向上を目的として実施している在宅看護人材キャリアアップ事業をH28年度より実施しているが希望者が多く、定員を上回っている。		・地域医療構想を踏まえ、在宅分野の看護職員の確保、質の向上のための研修の強化を図る。（在宅看護人材キャリアアップ事業・看護管理能力育成研修事業の拡充） ・熊本地震からの課題を踏まえ、災害看護研修事業の強化を図る。			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

外国人看護師候補者就業研修支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [地域医療の人材確保体制強化]			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[第6次 福井県医療計画]									
[事業目的] 外国人看護師候補者が県内で就労する上で必要となる日本語能力の取得, および外国人看護師候補者を受け入れる施設の研修支援体制の充実を図ることを目的とする。												
[事業内容] 事業内容 (1) 日本語習得支援事業 外国人看護師候補者に対し、日本語学校等への就学や日本語講師を招聘など外国人看護師候補者の日本語能力の向上を図る。 (補助額 : 候補者等1人当たり 117千円×1人=117千円) (2) 就労研修支援事業 外国人看護師候補者に対する国家資格の習得に向けた研修が適切に実施されるよう、受け入れる施設における研修支援体制の充実を図る。 (補助額 : 1施設当たり 461千円)												
[予算額の推移等] (単位: 千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		0	0	0	0	578						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	看護職員従事者数 (目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	外国人看護師候補者の受け入れに伴ない支援を行う医療機関数			
	実績	0	0	0	0	1						
活動指標	(目標)											
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		医療機関				
予算額	578	578				事業実施方法		補助				
						補助率		県 10/10				

事業評価

事業名	外国人看護師候補者就業研修支援事業	部局名	健康福祉部	課名	地域医療課	課長名	姫川 祐一	
[事業の必要性・要求の背景]								
外国人看護師候補者の円滑かつ適正な受け入れができるよう、本県においては、平成29年11月から県内医療機関においてフィリピン人看護師候補者1名の受け入れを行っており、外国人看護師候補者が日本で就労する上で必要となる日本語能力の取得および外国人看護師候補者を受け入れる施設の研修支援体制の充実を図る。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
外国人看護師候補者								
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	なし			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	